

2018（平成30）年度

事業報告書

〔2018（平成30）年4月1日から 2019（平成31）年3月31日まで〕

学校法人 北星学園

2018(平成30)年度 事業報告書

1. 学校法人の概要

| | | | |
|--------------------|-------|---|----|
| (1)建学の精神 | _____ | 頁 | 1 |
| (2)沿革 | _____ | 頁 | 2 |
| (3)組織 | _____ | 頁 | 3 |
| 組織構成図 | _____ | 頁 | 6 |
| (4)入学定員及び学生・生徒募集状況 | _____ | 頁 | 7 |
| (5)学生・生徒在籍者数 | _____ | 頁 | 8 |
| (6)教職員数 | _____ | 頁 | 10 |
| (7)役員の状況 | _____ | 頁 | 11 |

2. 事業の概要

| | | | |
|--------------------------|-------|---|----|
| (1)事業の計画概況（2018年度学園運営方針） | _____ | 頁 | 14 |
| (2)事業の総括概況（2018年度学園運営総括） | _____ | 頁 | 17 |

3. 財務の概要

| | | | |
|----------------|-------|---|----|
| (1)学校法人会計について | _____ | 頁 | 20 |
| (2)財産目録 | _____ | 頁 | 21 |
| (3)貸借対照表 | _____ | 頁 | 22 |
| (4)資金収支計算書 | _____ | 頁 | 25 |
| (5)活動区分資金収支計算書 | _____ | 頁 | 28 |
| (6)事業活動収支計算書 | _____ | 頁 | 30 |
| (7)監事による監査報告書 | _____ | 頁 | 33 |
| (8)決算の概要 | _____ | 頁 | 34 |

1. 学校法人の概要

(1) 建学の精神

学校法人北星学園は、スミス塾として創立されてから本年で 132 年目を迎えました。創立者は、米国人女性宣教師サラ・C・スミスです。スミスは教育者として、特に当時の日本人女性の教育に情熱を注ぎました。その教育方針は、キリスト教に基盤をおき、「キリスト教の精神のもと、生徒が実生活でさまざまな義務と責任を全うしうるように、あらゆる分野における有用な知識を教える」ことです。この目標のもと、多くの学生・生徒は、神に仕え、人を愛することを学び、世に出て行きました。

現在は、約 6,000 人の学生・生徒を擁する学園として成長しましたが、この目標は今日も北星学園の教育方針として、いささかも変わることなく継承され本学園の「建学の精神」となっています。

「Shine like stars in a dark world」(世にあつて星のように輝き—フィリピ 2 : 15) は、北星学園の校名の由来であり、新渡戸稲造先生が薦めたものです。

光を掲げることを目指す本学園の教育が校名の如く、名実共に、神の豊かな祝福の中に進められていければと願っています。

(2) 沿革

- 1887年 サラ・C・スミスによりスミス塾が札幌市北1西6に開校(1月15日)
1889年 スミス女学校として正式認可
1894年 札幌市北4西1に移転。北星女学校と名称変更
1926年 聖書・英文・家政専攻科設置
1929年 札幌市南5西17に新校舎建築移転(後に、南4西17に住居表示変更)
1935年 保育専攻科を設置
1943年 財団法人北星高等女学校と名称変更
1947年 新制中学校設置。財団法人北星学園と名称変更
1948年 高等学部設置
1949年 北星学園中学校、北星学園高等学校と名称変更
1951年 学校法人北星学園に組織変更、北星学園女子短期大学開設(英文科)
1954年 女子短期大学に家政科増設
1955年 短大附設幼稚園教諭養成所設置
1962年 北星学園大学開設(文学部英文学科・社会福祉学科)、北星学園高等学校を北星学園女子高等学校、北星学園中学校を北星学園女子中学校と名称変更、北星学園男子高等学校開設
1965年 大学に経済学部(経済学科)増設、北星学園余市高等学校を開設
1967年 短大附設幼稚園教諭養成所を同保育専門学校と名称変更
1969年 女子高等学校に音楽科増設
1970年 女子高等学校に英語科増設
1978年 短大附設保育専門学校を北星学園幼稚園教諭・保母養成所と名称変更
1980年 大学に専攻科(文学専攻科、経済学専攻科)設置
1987年 大学経済学部(経営情報学科)増設、男子高等学校を北星学園新札幌高等学校と改称し、共学制実施、学園創立百周年記念式典挙行
1988年 北星学園幼稚園教諭・保母養成所廃止
1989年 短大家政学科を生活教養学科に名称変更
1992年 大学に大学院設置(文学研究科)
1996年 大学に社会福祉学部増設(福祉計画学科、福祉臨床学科、福祉心理学科)
2000年 大学院に研究科増設(社会福祉学研究科)
2001年 大学院に研究科増設(経済学研究科 経済学専攻〔修士課程〕、文学研究科 言語文化コミュニケーション専攻〔修士課程〕)
2002年 大学文学部に心理・応用コミュニケーション学科を、経済学部(経済法学科)を増設、女子短期大学を北星学園大学短期大学部に名称変更し厚別区大谷地に移転、同時に共学制実施、短大生活教養学科を生活創造学科に名称変更、新札幌高等学校を北星学園大学附属高等学校に名称変更

現在設置する学校

| | |
|--------------|-----------------------|
| 北星学園大学 | 北海道札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号 |
| 北星学園大学短期大学部 | 北海道札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号 |
| 北星学園女子高等学校 | 北海道札幌市中央区南4条西17丁目2番2号 |
| 北星学園大学附属高等学校 | 北海道札幌市厚別区厚別町下野幌38番地 |
| 北星学園余市高等学校 | 北海道余市郡余市町黒川町19丁目2番1号 |
| 北星学園女子中学校 | 北海道札幌市中央区南4条西17丁目2番2号 |

(3) 組織

A. 法人組織

学校法人北星学園は、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い、建学の精神に則って学校教育を行うことを目的に設置された法人であり、現在、北星学園大学、北星学園大学短期大学部、北星学園女子高等学校、北星学園大学附属高等学校、北星学園余市高等学校及び北星学園女子中学校の6校を設置している。

法人組織における役員及び諸機関と役割等は次のとおりである。

理事会

本学の教育・研究の充実及び向上を目的とする有効適正な経営管理を行うため、その基本的な施策、方針、事業計画等の本法人の重要事項を審議し決定する機関である。構成は、大学長、大学副学長、大学学部長及び短期大学部長のうち2名、各高等学校長3名、法人の設置する学校の卒業生から2名、福音主義キリスト教会の教師等から1名、評議員から1名、学識経験者から7名の計18名となっている。

評議員会

法人の事業計画や予算、重要な資産の処分及び寄附行為の変更等の重要事項については、理事長において、あらかじめ意見を聞かなければならない機関として評議員会がある。構成は、大学長、大学副学長、各高等学校長3名、大学各学部長及び短期大学部長の4名、法人の教職員から10名、法人の設置する学校の卒業生から5名、福音主義キリスト教会の教師等から4名、法人の設置する学校に在籍する学生及び生徒の保護者から5名、学識経験者から8名の計41名となっている。

理事長

法人の代表者である（私立学校法第37条）。法人及び各学校の業務を総括し、その職員を統督する。また、理事会、評議員会の招集者である。

学園長

法人及び各学校の教学に関する事項を統括する。

常務理事

理事会及び常任理事会の議に基づき、法人の日常業務を執行し、所属職員を監督する。

学長

大学の代表者であり、大学教職員を統督する者（学校教育法第92条）である。法人の設置する学校の長として、大学長、短期大学部学長（兼務）がいる。

校長

中学校・高等学校の代表者であり、中学校・高等学校教職員の監督する者（学校教育法第49条及び第62条）である。法人の設置する学校の長として、女子中学高等学校長、附属高等学校長、余市高等学校長がいる。

B. 大学・短期大学部(以下「本学」という)組織

大学は学長によって代表され、そのスタッフとして副学長、スミス・ミッションセンター部長、各学部長、事務局長を置く。大学全体の審議決定機関としては、評議会がある。また、学長のもとに部局連絡会が常設され、大学の諸課題について連絡調整を行う。

評議会

本学に評議会を置き、教育及び研究の計画、人事、学則及び諸規程の制定並びに改廃、その他大学の組織及び運営に関する事項を審議する。

学部

各学部の専門教育科目、学籍、試験、単位、卒業、科目等履修生、研究生、学部の人事、学部内諸規程の制定及び改廃、学部の組織及び運営に関する事項並びに学長等の諮問した事項を審議するため教授会を置く。

大学院

大学院の研究科の組織及び教育研究の指導並びに学位の授与等に関する事項を審議するため、研究科委員会を置く。

短期大学部

短期大学部の学則その他短期大学部の制度に関する事項、教科課程、教員の任免、学籍、卒業、科目等履修生、研究生、外国人留学生、学長等の諮問した事項、その他重要な事項等を審議するために教授会を置く。

図書館

本学に、図書館を置き、本館に所蔵する図書・雑誌その他の資料を管理し、館内閲覧、館外貸出、他館利用、参考業務供与等の業務を行う。

センター等

- (1) スミス・ミッションセンターは、本学の「建学の精神」の基本理念に由来する本学ミッション・ステートメントに従い、建学の精神を具現化する活動を総合的に企画し、その実践を総括することを目的として設置されている。
- (2) 国際教育センターは、本学と外国の大学及び学術研究機関との教育及び研究に関する交流を推進するとともに、本学学生の外国語運用力及び国際理解の向上を図ることを目的として設置されている。
- (3) 学生相談センターは、本学の学生相談その他の学生支援に関する活動を総合的に企画し、その実施を総括するとともに、本学学生が直面する大学生活上の諸問題に対処するための相談に応じることにより、もって本学学生の人格形成及び自己実現を助けることを目的として設置されている。
- (4) 総合情報センターは、本学の教育研究の情報化を総合的に推進する機関として、本学の情報システムの信頼性及び効率性を高めるとともに、情報処理に関する教育研究の水準の向上及び事務処理の効率化に資することを目的として設置されて

いる。

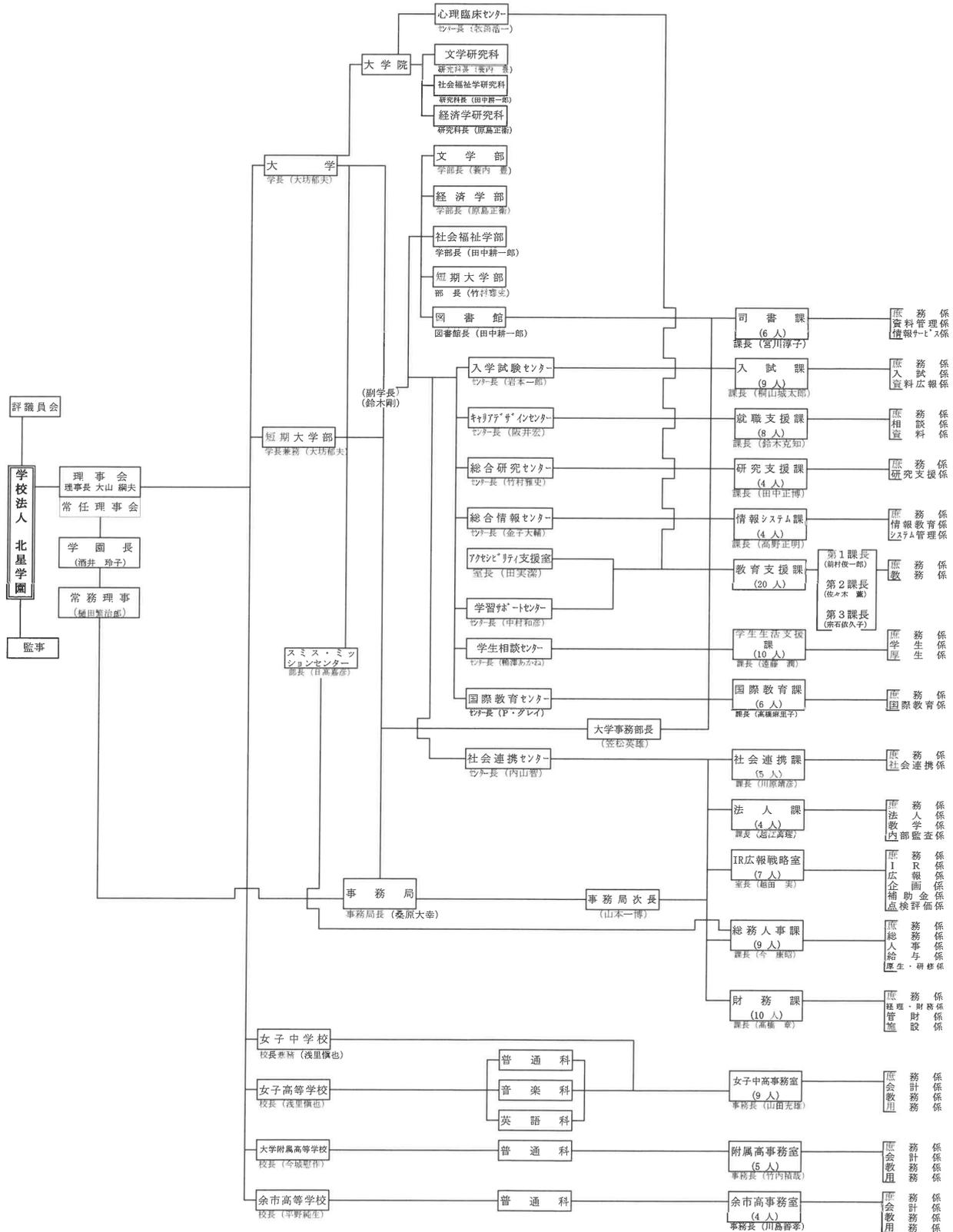
- (5) 総合研究センターは、本学の教育職員の研究活動活性化と研究水準の向上を図るための支援活動を行うとともに、本学のプロジェクト研究の拠点となり、あわせて学外からの研究委託を受諾する機関として地域社会に貢献すること、また、公的研究費の運営・管理、研究活動に係るコンプライアンス推進及び研究倫理教育を検討・実施することを目的として設置されている。
- (6) 入学試験センターは、本学の入学者の募集及び選抜に係る企画並びにその実施を総括する機関として、入学者の募集及び選抜を公正かつ効果的な方法で行うとともに、本学の入学定員を安定的に充足することを目的として設置されている。
- (7) キャリアデザインセンターは、本学の学生の就職等における進路選択を支援するための活動を企画し、その実施を総括するとともに、学生の就職先を広く開拓し、学生がその資質や能力に適した就職先を確保できるよう支援することによって、もって学生のキャリアデザインの形成に資することを目的として設置されている。
- (8) 社会連携センターは、大学の社会連携の総合窓口として、地域住民、自治体、企業・団体、非営利組織等との連携・交流を深め、本学の知と技を有効活用し、地域の福祉、教育、文化及び産業等の振興並びに地域・国際社会の発展に寄与すること、また、本学の北星オープンユニバーシティの講座を企画し、その実施を総括するとともに、学生及び学外の社会人のニーズに応じた各種講座を開くことにより、学生の多様な学習機会の確保と資格取得の支援に務め、社会人に生涯学習の場を提供することを目的として設置されている。
- (9) 心理臨床センターは、大学院において臨床心理学を専攻する大学院生等に対して実践的な教育訓練の場を用意し、本学の教員による臨床心理学研究を支援するとともに、あわせて臨床心理学の知見と手法を用いて地域住民が抱える心理的な問題を解消又は緩和するための活動を行うことを目的として設置されている。
- (10) 学習サポートセンターは、本学の学生の学習を総合的に支援するための学習環境を構築するとともに、学習支援の活動を先導的に企画・立案し、これを学部及び学科等と連携して組織的に実施することにより、学生の主体的かつ自律的な学習を促進させ、教育の質の保証に資することを目的として設置されている。
- (11) アクセシビリティ支援室は、本学の障害のある学生及び特別な支援を必要としている学生が、障害の種別及び程度に応じ、十分な教育の質を保証されるために必要な合理的配慮に基づく支援が受けられるようにすることを目的として設置されている。

C. 中学・高校組織

女子中学校・女子高等学校、大学附属高等学校、余市高等学校は各校長によって代表され、そのスタッフとして宗教主任、教頭、総務、事務長等を置く。各学校全体の運営に関する審議機関としては、職員会議がある。

学校法人北星学園 組織構成図

2018年4月1日



(4) 入学定員及び学生・生徒募集状況

2018年5月1日現在

| | | | | 入学定員 | 志願者数 | 入学者数 | | |
|--------------------------------------|---------------|-------------|---------------------------------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 大 学 ・ 短 期 大 学 部 | 大 学 院 | 文 学 研 究 科 | 言語文化コミュニケーション専攻 (修士課程) | 8 | 0 | 0 | | |
| | | 経 済 学 研 究 科 | 経 済 学 専 攻 (修士課程) | 10 | 3 | 3 | | |
| | | 社会福祉学研究所 | 社 会 福 祉 学 専 攻 (修士課程) | 8 | 0 | 0 | | |
| | | | 臨 床 心 理 学 (心 理 学) 専 攻 (修士課程) | 4 | 13 | 4 | | |
| | | | 社 会 福 祉 学 専 攻 (博士課程) | 3 | 5 | 3 | | |
| | | 大 学 院 合 計 | | | | 33 | 21 | 10 |
| | 文 学 部 | 英 文 学 科 | 英 文 学 科 | 113 | 511 | 126 | | |
| | | | 心 理 ・ 応 用 コミュニケーション学科 | 90 | 318 | 112 | | |
| | | 経 済 学 部 | 経 済 学 科 | 152 | 878 | 168 | | |
| | | | 経 営 情 報 学 科 | 102 | 542 | 120 | | |
| | | | 経 済 法 学 科 | 110 | 463 | 130 | | |
| | | 社 会 福 祉 学 部 | 福 祉 計 画 学 科 | 85 | 245 | 98 | | |
| | | | 福 祉 臨 床 学 科 | 85 | 224 | 88 | | |
| | | | 福 祉 心 理 学 科 | 64 | 191 | 75 | | |
| | | 学 部 合 計 | | | | 801 | 3,372 | 917 |
| | | 短 期 大 学 部 | 英 文 学 科 | 120 | 265 | 137 | | |
| | | | 生 活 創 造 学 科 | 80 | 169 | 89 | | |
| | 短 期 大 学 部 合 計 | | | | 200 | 434 | 226 | |
| | 3年次編入 | 文 学 部 | 英 文 学 科 | 14 | 13 | 13 | | |
| | | | 心 理 ・ 応 用 コミュニケーション学科 | 10 | 6 | 4 | | |
| | | 経 済 学 部 | 経 済 学 科 | 6 | 3 | 3 | | |
| | | | 経 営 情 報 学 科 | 6 | 3 | 2 | | |
| | | | 経 済 法 学 科 | 10 | 4 | 3 | | |
| | | 社 会 福 祉 学 部 | 福 祉 計 画 学 科 | 10 | 5 | 5 | | |
| | | | 福 祉 臨 床 学 科 | 10 | 3 | 3 | | |
| | | | 福 祉 心 理 学 科 | 7 | 0 | 0 | | |
| | 合 計 | | | | 73 | 37 | 33 | |
| 大 学 ・ 短 期 大 学 部 合 計 | | | | 1,107 | 3,864 | 1,186 | | |
| 女 子 高 | 普 通 科 | 普 通 科 | 150 | 226 | 113 | | | |
| | | 英 語 科 | 70 | 136 | 64 | | | |
| | | 音 楽 科 | 30 | 15 | 12 | | | |
| | | 合 計 | | | | 250 | 377 | 189 |
| 大 学 附 属 高 等 学 校 | | | | 255 | 971 | 239 | | |
| 大 余 市 高 等 学 校 | | | | 140 | 78 | 72 | | |
| 女 子 中 学 校 | | | | 120 | 102 | 57 | | |
| 総 合 計 | | | | 1,872 | 5,392 | 1,743 | | |

(5) 学生・生徒在籍者数

2018年5月1日現在

| 大 | 学 | 院 | 専攻 | 課程 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 合計 | | 前年同期 | | 増減 | 2017年度 | | | |
|-----------------------|--------|-----|---------------------------|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-----|--------|-------|------|---|
| | | | | | 定員 | 内休学 | 定員 | 内休学 | 定員 | 内休学 | 定員 | 内休学 | 定員 | 内休学 | 定員 | 内休学 | | | 内休学 | 卒業者数 | |
| 大 | 学 | 院 | 言語文化コミュニケーション専攻 (修士課程) | 定員 | 8 | | 8 | | | | | | 16 | | 16 | | 0 | | | | |
| | | | | 現員 | 男子 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | -4 | 0 | 4 | |
| | | | | | 女子 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | -1 | 0 | 1 | |
| | | | 計 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 7 | 1 | -5 | 0 | 5 | | | |
| | | | 経済学専攻 (修士課程) | 定員 | 10 | | 10 | | | | | | | | 20 | | 20 | | 0 | | |
| | | | | 現員 | 男子 | 1 | 0 | 2 | 0 | | | | | | 3 | 0 | 2 | 1 | 1 | -1 | 0 |
| | | | | | 女子 | 2 | 0 | 0 | 0 | | | | | | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | | | 計 | 3 | 0 | 2 | 0 | | | | | | | 5 | 0 | 2 | 1 | 3 | -1 | 0 | |
| | | | 社会福祉学専攻 (修士課程) | 定員 | 8 | | 8 | | | | | | | | 16 | | 16 | | 0 | | |
| | | | | 現員 | 男子 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 5 | 1 | 6 | 1 | -1 | 0 | 1 | |
| | | | | | 女子 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 5 | 2 | 5 | 0 | 0 | 2 | 0 | |
| | | | 計 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 5 | 3 | 10 | 3 | 11 | 1 | -1 | 2 | 1 | | | |
| 臨床心理学専攻 (修士課程) | 定員 | 4 | | 4 | | | | | | | | 8 | | 8 | | 0 | | | | | |
| | 現員 | 男子 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | -1 | 0 | 2 | | | | |
| | | 女子 | 3 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 7 | 0 | 1 | 0 | 2 | | | | |
| 計 | 4 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 4 | | | | | | |
| 社会福祉学専攻 (博士[後期]課程) | 定員 | 3 | | 3 | | 3 | | | | | | 9 | | 9 | | 0 | | | | | |
| | 現員 | 男子 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | | | | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | | | |
| | | 女子 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | 2 | 0 | 3 | 0 | -1 | 0 | 0 | | | |
| 計 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | | | | | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |
| 大学院合計 | | | | | 33 | | 33 | | 3 | | | 69 | | 69 | | 0 | | | | | |
| 現員 | | | | | 3 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 | 11 | 1 | 15 | 2 | -4 | -1 | 7 | | |
| 男子 | | | | | 7 | 0 | 8 | 0 | 1 | 0 | 3 | 3 | 19 | 3 | 18 | 1 | 1 | 2 | 3 | | |
| 女子 | | | | | 10 | 0 | 12 | 0 | 2 | 0 | 6 | 4 | 30 | 4 | 33 | 3 | -3 | 1 | 10 | | |
| 大 | 学 | 部 | 英文学科 | 定員 | 113 | | 113 | | 127 | | 127 | | 480 | | 480 | | 0 | | | | |
| | | | | 現員 | 男子 | 28 | 0 | 30 | 1 | 24 | 3 | 42 | 6 | 124 | 10 | 125 | 8 | -1 | 2 | 22 | |
| | | | | | 女子 | 98 | 1 | 99 | 2 | 125 | 7 | 142 | 14 | 464 | 24 | 482 | 27 | -18 | -3 | 123 | |
| | | | 計 | 126 | 1 | 129 | 3 | 149 | 10 | 184 | 20 | 588 | 34 | 607 | 35 | -19 | -1 | 145 | | | |
| | | | 心理・応用コミュニケーション学科 | 定員 | 90 | | 90 | | 100 | | 100 | | 380 | | 380 | | 380 | | 0 | | |
| | | | | 現員 | 男子 | 41 | 0 | 37 | 1 | 41 | 2 | 50 | 15 | 169 | 18 | 162 | 9 | 7 | 9 | 29 | |
| | | | | | 女子 | 71 | 0 | 54 | 0 | 70 | 3 | 98 | 7 | 293 | 10 | 282 | 8 | 11 | 2 | 59 | |
| | | | 計 | 112 | 0 | 91 | 1 | 111 | 5 | 148 | 22 | 462 | 28 | 444 | 17 | 18 | 11 | 88 | | | |
| | | | 経済学 | 定員 | 152 | | 152 | | 158 | | 158 | | 620 | | 620 | | 620 | | 0 | | |
| | | | | 現員 | 男子 | 124 | 0 | 143 | 0 | 122 | 2 | 128 | 5 | 517 | 7 | 530 | 6 | -13 | 1 | 126 | |
| | | | | | 女子 | 44 | 1 | 31 | 1 | 48 | 0 | 54 | 4 | 177 | 6 | 174 | 2 | 3 | 4 | 42 | |
| | | | 計 | 168 | 1 | 174 | 1 | 170 | 2 | 182 | 9 | 694 | 13 | 704 | 8 | -10 | 5 | 168 | | | |
| 経営情報学科 | 定員 | 102 | | 102 | | 108 | | 108 | | 420 | | 420 | | 420 | | 0 | | | | | |
| | 現員 | 男子 | 69 | 0 | 77 | 1 | 71 | 1 | 100 | 5 | 317 | 7 | 320 | 9 | -3 | -2 | 56 | | | | |
| | | 女子 | 51 | 1 | 58 | 0 | 44 | 1 | 46 | 1 | 199 | 3 | 196 | 1 | 3 | 2 | 45 | | | | |
| 計 | 120 | 1 | 135 | 1 | 115 | 2 | 146 | 6 | 516 | 10 | 516 | 10 | 0 | 0 | 101 | | | | | | |
| 経済法学科 | 定員 | 110 | | 110 | | 120 | | 120 | | 460 | | 460 | | 460 | | 0 | | | | | |
| | 現員 | 男子 | 97 | 0 | 93 | 0 | 92 | 0 | 112 | 5 | 394 | 5 | 390 | 9 | 4 | -4 | 84 | | | | |
| | | 女子 | 33 | 0 | 33 | 0 | 42 | 0 | 43 | 4 | 151 | 4 | 150 | 4 | 1 | 0 | 30 | | | | |
| 計 | 130 | 0 | 126 | 0 | 134 | 0 | 155 | 9 | 545 | 9 | 540 | 13 | 5 | -4 | 114 | | | | | | |
| 社会福祉部 | 福祉計画学科 | 定員 | 85 | | 85 | | 95 | | 95 | | 360 | | 360 | | 360 | | 0 | | | | |
| | | 現員 | 男子 | 46 | 1 | 44 | 0 | 53 | 0 | 73 | 4 | 216 | 5 | 233 | 7 | -17 | -2 | 56 | | | |
| | | | 女子 | 52 | 0 | 41 | 0 | 52 | 1 | 45 | 2 | 190 | 3 | 175 | 1 | 15 | 2 | 37 | | | |
| 計 | 98 | 1 | 85 | 0 | 105 | 1 | 118 | 6 | 406 | 8 | 408 | 8 | -2 | 0 | 93 | | | | | | |
| 福祉臨床学科 | 定員 | 85 | | 85 | | 95 | | 95 | | 360 | | 360 | | 360 | | 0 | | | | | |
| | 現員 | 男子 | 27 | 0 | 25 | 1 | 27 | 0 | 34 | 2 | 113 | 3 | 106 | 1 | 7 | 2 | 16 | | | | |
| | | 女子 | 61 | 0 | 73 | 1 | 63 | 1 | 70 | 3 | 267 | 5 | 268 | 5 | -1 | 0 | 63 | | | | |
| 計 | 88 | 0 | 98 | 2 | 90 | 1 | 104 | 5 | 380 | 8 | 374 | 6 | 6 | 2 | 79 | | | | | | |
| 福祉心理学科 | 定員 | 64 | | 64 | | 71 | | 71 | | 270 | | 270 | | 270 | | 0 | | | | | |
| | 現員 | 男子 | 25 | 0 | 21 | 0 | 17 | 1 | 20 | 0 | 83 | 1 | 83 | 2 | 0 | -1 | 20 | | | | |
| | | 女子 | 50 | 0 | 48 | 1 | 51 | 0 | 49 | 3 | 198 | 4 | 200 | 6 | -2 | -2 | 45 | | | | |
| 計 | 75 | 0 | 69 | 1 | 68 | 1 | 69 | 3 | 281 | 5 | 283 | 8 | -2 | -3 | 65 | | | | | | |
| 学部合計 | | | | | 801 | | 801 | | 874 | | 874 | | 3,350 | | 3,350 | | 0 | | | | |
| 現員 | | | | | 457 | 1 | 470 | 4 | 447 | 9 | 559 | 42 | 1,933 | 56 | 1,949 | 51 | -16 | 5 | 409 | | |
| 男子 | | | | | 460 | 3 | 437 | 5 | 495 | 13 | 547 | 38 | 1,939 | 59 | 1,927 | 54 | 12 | 5 | 444 | | |
| 女子 | | | | | 917 | 4 | 907 | 9 | 942 | 22 | 1,106 | 80 | 3,872 | 115 | 3,876 | 105 | -4 | 10 | 853 | | |
| 短期大学部 | 英文学科 | 定員 | 120 | | 120 | | | | | | | 240 | | 240 | | 0 | | | | | |
| | | 現員 | 男子 | 15 | 0 | 13 | 3 | | | | | 28 | 3 | 19 | 0 | 9 | 3 | 5 | | | |
| | | | 女子 | 122 | 0 | 128 | 10 | | | | | 250 | 10 | 272 | 19 | -22 | -9 | 132 | | | |
| 計 | 137 | 0 | 141 | 13 | | | | | 278 | 13 | 291 | 19 | -13 | -6 | 137 | | | | | | |
| 生活創造学科 | 定員 | 80 | | 80 | | | | | | 160 | | 160 | | 160 | | 0 | | | | | |
| | 現員 | 男子 | 1 | 0 | 0 | 0 | | | | | 1 | 0 | 2 | 0 | -1 | 0 | 2 | | | | |
| | | 女子 | 88 | 0 | 97 | 4 | | | | | 185 | 4 | 196 | 3 | -11 | 1 | 97 | | | | |
| 計 | 89 | 0 | 97 | 4 | | | | | 186 | 4 | 198 | 3 | -12 | 1 | 99 | | | | | | |
| 短期大学部合計 | | | | | 200 | | 200 | | | | | 400 | | 400 | | 0 | | | | | |
| 現員 | | | | | 16 | 0 | 13 | 3 | | | | 29 | 3 | 21 | 0 | 8 | 3 | 7 | | | |
| 男子 | | | | | 210 | 0 | 225 | 14 | | | | 435 | 14 | 468 | 22 | -33 | -8 | 229 | | | |
| 女子 | | | | | 226 | 0 | 238 | 17 | | | | 464 | 17 | 489 | 22 | -25 | -5 | 236 | | | |
| 合計 | | | | | 1,001 | | 1,001 | | 874 | | 874 | | 3,750 | | 3,750 | | 0 | | | | |
| 現員 | | | | | 473 | 1 | 483 | 7 | 447 | 9 | 559 | 42 | 1,962 | 59 | 1,970 | 51 | -8 | 8 | 416 | | |
| 男子 | | | | | 670 | 3 | 662 | 19 | 495 | 13 | 547 | 38 | 2,374 | 73 | 2,395 | 76 | -21 | -3 | 673 | | |
| 女子 | | | | | 1,143 | 4 | 1,145 | 26 | 942 | 22 | 1,106 | 80 | 4,336 | 132 | 4,365 | 127 | -29 | 5 | 1,089 | | |
| 大学院・大学合計 | | | | | 1,034 | | 1,034 | | 877 | | 874 | | 3,819 | | 3,819 | | 0 | | | | |
| 現員 | | | | | 476 | 1 | 487 | 7 | 448 | 9 | 562 | 43 | 1,973 | 60 | 1,985 | 53 | -12 | 7 | 423 | | |
| 男子 | | | | | 677 | 3 | 670 | 19 | 496 | 13 | 550 | 41 | 2,393 | 76 | 2,413 | 77 | -20 | -1 | 676 | | |
| 女子 | | | | | 1,153 | 4 | 1,157 | 26 | 944 | 22 | 1,112 | 84 | 4,366 | 136 | 4,398 | 130 | -32 | 6 | 1,099 | | |

| | | 1 年 | | 2 年 | | 3 年 | | 4 年 | | 合計 | | 前年同期 | | 増 | 減 | 2015年度 卒業者数 | |
|----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-----|----------------|-------|
| | | | 内休学 | | 内休学 | | 内休学 | | 内休学 | | 内休学 | | 内休学 | 内休学 | | | |
| 女子 高 | 普通科 | 定員 | 150 | | 150 | | 150 | | | | 450 | | 450 | | 0 | | |
| | | 現員 | 114 | 1 | 134 | 0 | 128 | 0 | | | 376 | 1 | 388 | 2 | -12 | -1 | 118 |
| | 英語科 | 定員 | 70 | | 70 | | 70 | | | | 210 | | 210 | | 0 | | |
| | | 現員 | 64 | 0 | 82 | 0 | 70 | 0 | | | 216 | 0 | 230 | 0 | -14 | 0 | 74 |
| | 音楽科 | 定員 | 30 | | 30 | | 30 | | | | 90 | | 90 | | 0 | | |
| | | 現員 | 12 | 0 | 12 | 1 | 13 | 0 | | | 37 | 1 | 37 | 1 | 0 | 0 | 12 |
| 合計 | 定員 | 250 | | 250 | | 250 | | | | 750 | | 750 | | 0 | | | |
| 計 | | 190 | 1 | 228 | 1 | 211 | 0 | | | 629 | 2 | 655 | 3 | -26 | -1 | 204 | |
| 大学附属高等学校 | 定員 | 255 | | 255 | | 255 | | | | 765 | | 765 | | 0 | | | |
| | 現員 | 男子 | 113 | 0 | 122 | 0 | 116 | 0 | | | 351 | 0 | 376 | 0 | -25 | 0 | 131 |
| | | 女子 | 126 | 0 | 90 | 0 | 100 | 0 | | | 316 | 0 | 290 | 1 | 26 | -1 | 97 |
| 計 | | 239 | 0 | 212 | 0 | 216 | 0 | | | 667 | 0 | 666 | 1 | 1 | -1 | 228 | |
| 余市高等学校 | 定員 | 140 | | 140 | | 140 | | | | 420 | | 420 | | 0 | | | |
| | 現員 | 男子 | 59 | 6 | 45 | 1 | 37 | 0 | | | 141 | 7 | 133 | 1 | 8 | 6 | 35 |
| | | 女子 | 19 | 0 | 24 | 0 | 20 | 0 | | | 63 | 0 | 66 | 2 | -3 | -2 | 18 |
| 計 | | 78 | 6 | 69 | 1 | 57 | 0 | | | 204 | 7 | 199 | 3 | 5 | 4 | 53 | |
| 女子中学校 | 定員 | 120 | | 120 | | 120 | | | | 360 | | 360 | | 0 | | | |
| | 現員 | 57 | 0 | 58 | 0 | 76 | 0 | | | 191 | 0 | 199 | 0 | -8 | 0 | 59 | |
| | 計 | | 57 | 0 | 58 | 0 | 76 | 0 | | | 191 | 0 | 199 | 0 | -8 | 0 | 59 |
| 学園合計 | 定員 | 1,799 | | 1,799 | | 1,642 | | 874 | | 6,114 | | 6,114 | | 0 | | | |
| | 現員 | 男子 | 648 | 7 | 654 | 8 | 601 | 9 | 562 | 43 | 2,465 | 67 | 2,494 | 54 | -29 | 13 | 589 |
| | | 女子 | 1,069 | 4 | 1,070 | 20 | 903 | 13 | 550 | 41 | 3,592 | 78 | 3,623 | 83 | -31 | -5 | 1,054 |
| 計 | | 1,717 | 11 | 1,724 | 28 | 1,504 | 22 | 1,112 | 84 | 6,057 | 145 | 6,117 | 137 | -60 | 8 | 1,643 | |

(6) 教職員数

2018年5月1日現在

| | | 法 | 人 | 大 | 学 | 短 | 大 | 部 | 女子高 | 附属高 | 余市高 | 女子中 | 合 計 | 前年合計 | |
|--------|----------------|---------|------|---|----|-----|------|--------|------|------|------|-----|-----|------|----|
| 役員 | 理 事 長 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | 学 園 長 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | 常 務 理 事 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | 合 計 | 3 | | | | | | | | | | | 3 | 3 | |
| 教育職 | 学長・校長 | | | | | (1) | | | 1 | 1 | 1 | (1) | 4 | 4 | |
| | 副学長 | | (教授) | | | (1) | | | | | | | 1 | 1 | |
| | チャプレン ・宗教主任 | | (教授) | | | (1) | (教諭) | (校長兼務) | (教諭) | | (1) | | 3 | 3 | |
| | 大学・短大 | 教 授 | 83 | | | | 9 | | | | | | | 92 | 94 |
| | | 准 教 授 | 22 | | | | 3 | | | | | | | 25 | 27 |
| | | 講 師 | 15 | | | | 6 | | | | | | | 21 | 21 |
| | | 助 教 | 2 | | | | | | | | | | | 2 | 1 |
| | | カウンセラー | 1 | | | | (1) | | | | | | | 1 | 1 |
| | 中学・高校 | 教 頭 | | | | | | (教諭) | (教諭) | (教諭) | (教諭) | | | 5 | 5 |
| | | 教 諭 | | | | | | 34 | 33 | 16 | 13 | | | 96 | 96 |
| | | 養 護 教 諭 | | | | | | 1 | 1 | | | | | 2 | 2 |
| | | 講 師 | | | | | | | | | | | | 0 | 1 |
| | 合 計 | | 126 | | | 18 | 39 | 37 | 19 | 13 | | | 252 | 256 | |
| 事務・用務職 | 書 記 | 77 | | | | | 4 | 4 | 3 | 1 | | | 89 | 89 | |
| | 司 書 | 2 | | | | | | | | | | | 2 | 2 | |
| | 保 健 師 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | 技 手 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | 用 務 職 員 | | | | | | 1 | 1 | | | | | 2 | 2 | |
| | 特 任 職 員 | 24 | | | | | 2 | | 1 | | | | 27 | 27 | |
| 合 計 | 105 | | | | | 7 | 5 | 4 | 1 | | | 122 | 122 | | |
| 寄宿職 | 寄 宿 職 員 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | |
| | 特 任 職 員 | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | 合 計 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | |
| 総 合 計 | 3 | 231 | | | 18 | 47 | 42 | 23 | 14 | | | 378 | 382 | | |

*学長、副学長は教授に含まない *中高校嘱託教諭含む *中高外国人講師含む
 *大連外国語大学交流教員含む *非常勤講師は含まない *休職者含む
 *大学特別専任含む *校長兼務、教頭は教諭に含まない *臨時職員は含まない
 *() 内数字は兼務を示し合計数には含めない

(7) 役員の状況

理事・監事名簿

任期 [2017年4月1日～2020年3月31日]

(2018年4月1日現在)

| 区 分 | No. | 氏 名 | 備 考 |
|-----------------------|-----|--------------|---------------------------|
| 理事長 (8号理事：学識経験者) | 1 | 大 山 綱 夫 | |
| 学園長 (8号理事：学識経験者) | 2 | 酒 井 玲 子 | |
| 常務理事 (8号理事：学識経験者) | 3 | 樋 田 繁 治 郎 | |
| 1号理事 (学長) | 4 | 大 坊 郁 夫 | [任期：2018年4月1日～2022年3月31日] |
| 2号理事 (副学長) | 5 | 鈴 木 剛 | [任期：2017年4月1日～2019年3月31日] |
| 3号理事 (学部長) | 6 | 原 島 正 衛 | [任期：2017年4月1日～2019年3月31日] |
| | 7 | 蓑 内 豊 | [任期：2018年4月1日～2020年3月31日] |
| 4号理事 (校長) | 8 | 浅 里 慎 也 | [任期：2018年4月1日～2021年3月31日] |
| | 9 | 今 城 慰 作 | [任期：2016年4月1日～2019年3月31日] |
| | 10 | 平 野 純 生 | [任期：2017年4月1日～2020年3月31日] |
| 5号理事 (同窓生) | 11 | 松 倉 千 春 | |
| | 12 | 新 沼 貞 子 | [任期：2018年4月1日～2020年3月31日] |
| 6号理事 (福音主義礼拝教会教師等) | 13 | 八 田 牧 人 | |
| 7号理事 (評議員) | 14 | 日 高 嘉 彦 | [任期：2018年4月1日～2020年3月31日] |
| 8号理事 (学識経験者) | 15 | 高 杉 純 二 | |
| | 16 | 小 華 和 坦 | |
| | 17 | 北 川 健 一 | |
| | 18 | ジェームズ E.アリソン | |
| 監事 | 1 | 宮 崎 善 昭 | |
| | 2 | 大 津 忠 行 | |

評議員名簿

任期〔2017年4月1日～2020年3月31日〕

(2018年4月1日現在)

| 区 分 | No. | 氏 名 | 備 考 |
|---------------------------------------|-----|-----------|---------------------------|
| 1号(学長) | 1 | 大 坊 郁 夫 | 〔任期：2018年4月1日～2022年3月31日〕 |
| 2号(副学長) | 2 | 鈴 木 剛 | 〔任期：2017年4月1日～2019年3月31日〕 |
| 3号 (学部長) | 3 | 原 島 正 衛 | 〔任期：2017年4月1日～2019年3月31日〕 |
| | 4 | 蓑 内 豊 | 〔任期：2018年4月1日～2020年3月31日〕 |
| 4号 (学校長) | 5 | 浅 里 慎 也 | 〔任期：2018年4月1日～2021年3月31日〕 |
| | 6 | 今 城 慰 作 | 〔任期：2016年4月1日～2019年3月31日〕 |
| | 7 | 平 野 純 生 | 〔任期：2017年4月1日～2020年3月31日〕 |
| 5号 (学部長) | 8 | 田 中 耕 一 郎 | 〔任期：2018年4月1日～2020年3月31日〕 |
| | 9 | 竹 村 雅 史 | 〔任期：2017年4月1日～2019年3月31日〕 |
| 6号 (教職員) | 10 | 大 原 昌 明 | |
| | 11 | 岩 本 一 郎 | |
| | 12 | 桑 原 大 幸 | |
| | 13 | 山 本 一 博 | |
| | 14 | 笠 松 英 雄 | |
| | 15 | 中 川 力 | |
| | 16 | 西 千 秋 | |
| | 17 | 藤 井 達 夫 | |
| | 18 | 今 堀 浩 | |
| | 19 | 日 高 嘉 彦 | 〔任期：2018年4月1日～2020年3月31日〕 |
| 7号 (同窓生) | 20 | 松 倉 千 春 | |
| | 21 | 小 村 知 江 子 | |
| | 22 | 新 沼 貞 子 | 〔任期：2018年4月1日～2020年3月31日〕 |
| | 23 | 村 上 勉 | |
| | 24 | 馬 場 希 | |
| 8号 (福音主義 ^{キリスト} 教会教師等) | 25 | 日 向 恭 司 | |
| | 26 | 八 田 牧 人 | |
| | 27 | 大 友 正 幸 | |
| | 28 | 堤 隆 | |

| 区 分 | No. | 氏 名 | 備 考 |
|----------------|-----|-------|---------------------------|
| 9号 (在学生父母) | 29 | 中村千津子 | [任期：2017年6月1日～2021年3月31日] |
| | 30 | 佐野潤一 | [任期：2016年6月1日～2018年3月31日] |
| | 31 | 石垣弘毅 | [任期：2016年6月1日～2019年3月31日] |
| | 32 | 細田尚彦 | [任期：2017年6月1日～2019年3月31日] |
| | 33 | 浅野憲司 | [任期：2017年6月1日～2018年3月31日] |
| 10号 (学職経験者) | 34 | 熊敏彦 | |
| | 35 | 久世そらち | |
| | 36 | 青山実 | |
| | 37 | 山崎巖 | |
| | 38 | 向谷地生良 | |
| | 39 | 木島嘉子 | |
| | 40 | 安藤路子 | |
| | 41 | 赤塚善彦 | |

2. 事業の計画概要

(1) 事業の計画概況

本学校法人北星学園の2018年度における事業の運営方針概要は、以下のとおりである。

2018年度 学園運営方針

理事長 大山 綱夫

はじめに

北星学園は、昨年創立 130 周年を祝い、記念行事や事業を通し創設者の祈りや建学の精神を改めて確認することができました。130 年の前半期、学園は女子教育を通して札幌の教育界に革新的な貢献をしながら、その終盤の戦争期には、アメリカ人女性宣教師創設によるミッションスクールであったため、大きな苦難を余儀なくされました。後半期にあたる戦後は、日本国憲法と(旧)教育基本法のもと復興と拡充の道を歩みましたが、その道は社会や経済の混乱、あるいは不運ともいえるべき出来事によって、決して平坦であったわけではありません。しかし、学園関係者はもちろん、学園を思う国内外の関係者の真剣な祈りと支援によって現在の学園が築かれました。このことを決して忘れず、これからの日々も上よりの導きと支えを祈りつつ、神に良しとされる学園作りに邁進したいと思います。

現在、日本の教育界は今までにない様々な課題に直面しています。なかでも急速な発達を遂げている IT 技術がもたらしている知識伝達の方法の変化は、教育方法や教室や学校の現場や形態にも影響を与え始めています。また少子高齢化社会の到来は、学校の存立に決定的な影響を与え始めており、公立学校の統廃合や私立短大・大学の閉鎖や合併が続いています。2017 年も出生数が、前年に引き続いて 100 万人を下まわりました。この数字は、学園の 12 年後の中学入学者数に、15 年後の高校入学者数に、そして 18 年後の大学入学者数に影響が出ることは必至です。教育行政の方向も私立学校にとって楽観を許すものではありません。学園の将来展望を描くとき、前提として学園もこうした大状況の中にあることを、学園構成員全員が共通認識として持つことが求められます。

今年度、宗教主任会議から提案頂いた学園目標と年間聖句は、「ルカによる福音書」11 章 1 節から取られました。将来の不透明さのゆえに祈ることの困難を覚える時代であればこそ、ここに描かれた弟子のように、「歩み」に先立つ「祈り」からイエスに導きを求める姿勢の大切さを確認したいと思います。

学園目標： とともに祈りを求め、新たな歩みへ

年間聖句： 主よ、…わたしたちにも祈りを教えてください。

(ルカによる福音書 11 章 1 節)

1. 「建学の精神」に基づく教育の現代化について

北星学園は、スミス先生の書かれた「学校の根本理念」のもと、教育を展開してきました。この根本理念のひとつに、学校において最も重要なものとして「宗教的霊的影響を与えること」が述べられていますが、これと通底する似通った文言は、他のキリスト教学校の建学の精神にもみられます。しかし、もうひとつの「多様な分野の有用な知識を教えることにより、実生活上の義務と責任を果たせる人間を育てること」は、他のキリスト教学校には見られない特徴と

いわれます（『北星教育と現代』第6号掲載の嶋田順好氏による『サラ・スミスと女性宣教師——北星学園を築いた人々』書評参照）。

学園は、学ぶ者のライフ・ステージに合わせて中学校から大学院に至るまで建学の精神の現代化に取り組み、巣立ちゆく者が置かれた場で人間としての務めを果たすことができる知の育成に取り組んできました。創立以来の根本理念の裏打ちのあるこの姿勢を、変化の激しい今こそ、北星教育の現代化に取り組む際に、しっかりと維持したいと思います。

もちろん学園内7校の学種性格の違いを考えれば、まず各校単位で議論を深めねばなりません。なによりも在学中のライフ・ステージに即した学びと生活の充実を保障することは言をまちません。その上で中高段階では、卒業生のほとんどが上級学校進学を考える時代、適切な進路指導とそれに見合う態勢を築くこと、大学段階では多くの学生にとって最後の教育機関、それゆえに職業上の帰属先発見の重要期間と考えれば学部・学科・専攻構成の点検が望まれます。

学園全体では、学園研修会や学園キリスト教センター主催の研究会で共通認識の形成に取り組めます。そして、いずれの取り組みにおいても時を逸さない決断と始動が求められることも言をまちません。

2. 一つの学園としてのより緊密な連携強化を

今年度も各校独自の教育を発展させると同時に、学園内教育連携委員会を通して各校間の連携を進める活動に取り組めます。具体的には、各校の授業はもとより、学校祭や体育祭、文化展、クリスマス、商品開発やイベントなどの情報を発信し、見学や参加などの交流を図ります。

中学高校に配分されている各年度2000万円（2017年度から2019年度まで）の政策予備費を有効に使用し、大学・短大への進学者に対する学習の援助を積極的に進めます。昨年度より計画・実行されている学園内高大連携活動として、附属高校の「探究プログラム」、また、女子中学高校の「Core コース北星大私大系連携プログラム」の実施に協力します。大学・短大は「学園内高校推薦入学者の個人情報開示」を実施して4年目を経ましたので、進路指導の活用状況などを検証します。

学園教職員の年間の行事として、夏期に実施される学園研修会があります。数年前より教育職員部会と事務職員部会とが合同で開催していますが、今年度も合同で行う方向で、共通した焦眉の課題をテーマに開催します。ここで教育の課題とされた内容については常任理事会や学園内教育連携委員会に諮り、学園としてのプロジェクトを組み、検討する方向を探ります。

一方、学園クリスマスの礼拝・祝会について見直し、その時期や内容を宗教主任会議や互助会と相談して教職員の交流を深めるよう企画します。

3. 学園キリスト教教育の推進について

学園は建学の精神を具体化し、キリスト教教育の研究と実践の発展を目標としています。とりわけ創設者スミス先生の教育精神を理解し、受け継ぎ、発展させることが課題です。そのためには、生徒・学生のみならず、学園教職員がキリスト教活動に積極的に関わり、協力することを課題とします。

6年目を迎える学園キリスト教センターは運営委員会を中心に上記の目標を具体化し、キリスト教活動の推進に努めます。宗教主任会議との連携を強化し、キリスト教教育の課題の解決や推進に努めます。キリスト教活動の積極的な担い手となる教職員の配置の方策を考えます。

具体的には以下の事柄に取り組めます。

- ・年一回のセンター報『北星教育』（10号）、年報『北星教育と現代』（第7号）を発行します。
- ・6月と11月には、キリスト教会との交流や実践検討など、講演会や学習交流会を計2回開催します。
- ・北星学園創立130周年記念誌『サラ・スミスと女性宣教師——北星学園を築いた人々——』、また冊子『Shine like stars in a dark world』や『北星学園とキリスト教』を用いて、創設

者たちの教育精神を伝える活動を進めます。

- ・キリスト教センター主催の5回目になる「学園内推薦入学者の集い」のあり方を見直し、更に参加型の集会にし、入学後にキリスト教行事に関心を抱くような内容を設けます。
- ・昨年発行の「北星学園キリスト教センター 活動案内」を各校に配布し、各校のキリスト教活動を支援します。
- ・今年度の学園の年間の聖句「主よ、…わたしたちにも祈りを教えてください」に従って、各校において「北星 ともに祈る会」を実施します。

4. 北星学園将来構想（グランドデザイン）の策定について

歴史と伝統ある学園が、「建学の精神」の上に立ち、教育使命共同体としての責務を認識して創立 150 周年に向けた歩みを進めていくためには、北星学園の全構成員で、北星ビジョンの策定及びビジョンを具現化するための中長期計画の策定に取り組むことが重要です。

昨年 9 月の理事会研究会では、「学校改革に向けた取組み」をテーマに中等教育部門 3 校それぞれの今後のあり方について討議を行いました。今年度は、高等教育部門や法人運営、さらに財務・財政をも含めた 2020 年度から 2029 年度までの 10 年間における学園将来構想（グランドデザイン）の検討を、学園総合企画委員会及び学園内教育連携委員会のもとで開始します。

5. 取り組む個別重点課題について

1) スタッフ・ディベロップメント（SD）の取組みについて

昨年 4 月から義務化されたスタッフ・ディベロップメント（SD）に対する文部科学省通知には、「大学等がその使命を十全に果たすためには、その運営についても一層の高度化を図ることが必要であることを踏まえ」とあり、SD義務化の目的を大学等運営の高度化と位置付けています。また、SDを事務職員の能力開発に限定せず、教職員の協働関係の確立という観点から、目的に応じた柔軟な取組みが求められています。

以上のことを踏まえ、学園研修会をはじめとする学園及び各学校が行うSD及びファカルティ・ディベロップメント（FD）等を組織的に取り組むことで、管理運営や教育・研究支援までを含めた教職員全員を対象とした資質向上を目指します。

2) 新給与体系への取組みについて

「新給与体系の策定に係るロードマップ」を 2017 年 3 月に確認後、教職員組合からの春季要求を発端に「給与等削減措置と定年延長（段階的並行実施を含む）」及び「嘱託再雇用者（定年退職後、標準的な年金支給開始年齢である 65 歳まで）の給与改善」を課題として、教職員組合等の意見を確認しながら進めることとなりました。

新給与体系への取組みは、学園財政の健全化へつなげる重要課題です。また、教職員の働き方改革（就業環境の改善）においても重要な課題となることを認識し、それらを学園総合企画委員会及び学園人事制度検討委員会において並行して検討を進めます。

以 上

(2) 事業の総括概況

本学校法人北星学園の2018年度における事業の運営総括概要は、以下のとおりである。

2018 度 学園運営総括

理事長 大山 綱夫

はじめに

北星学園は、2018 年度を始めるにあたって、宗教主任会議からの提案に基づき、学園目標を「ともに祈りを求め、新たな歩みへ」と定め、年間聖句に「主よ、・・・わたしたちにも祈りを教えてください」（ルカによる福音書 11 章 1 節）を選び、この目標と聖句のもと、学園運営に当たってきました。学園が、キリスト教学校としての理想実現を祈りつつも、多くの反省を抱えながらの歩みのなかで、さらには学園規模の変化や経年によって生じかねない創立の理念共有の緩みがないよう、学園全構成員に「ともなる祈り」を促す目標であり、上よりの導きを祈る聖句でありました。

2018 年度運営方針のなかで、大状況たる日本の教育界が抱える課題の一つとして、IT 技術がもたらしている知識伝達の方法の変化が教育方法や教育現場の形態に与える影響を指摘しましたが、早くも行政指導による一部公立学校での試行的取組みが報道され始めました。予想される進捗速度を考えれば、私学としてはハード・ソフト両面での財政を含めての準備を、時を置かず迫られると覚悟しなければなりません。運営方針中に指摘したもう一点は、少子高齢化社会の到来により進行している公立学校の統廃合や私立短大・大学の閉鎖や合併という事態でした。北海道では、今春、道立と私立の「同居」（幕別青陵高校。在校生の卒業と同時に閉校）という全く新しい形態さえ生まれました。同じく今春、大学レベルでは関西の 2 大学（神戸山手大学の学部譲渡による関西国際大学と）の統合が発表されました。いずれの事例も、明確な建学の精神を持つ私学であるならば、その存続の在り方への真剣な取組みが問われる事態です。IT 技術の急速な革新と、統計予測上も確実に学齢期人口が減少する時代、北星学園もこうした大状況に囲まれていることを、学園構成員全員が共通認識として持つことが強く求められています。その意味でも 2018 年度の学園目標中の「ともに」は、今後も学園構成員全員が取り組むことが要請される姿勢です。

1. 「建学の精神」に基づく教育の現代化について

2018 年度運営方針のなかで、スミス先生の遺された「学校の根本理念」の後半部分、「多様な分野の有用な知識を教えることにより、実生活の義務と責任を果たせる人間を育てること」が、他のキリスト教学校の建学の精神に見られない特徴であると、外部の識者から指摘されていることを紹介しました。創立以来の根本理念であるこの姿勢を、現在、中学校から大学院に至るまでの異なるライフステージにある生徒・学生・院生に対して、どのように現代化するか、細やかな対応が必要です。中高段階ではほとんどの生徒が上級進学する現在、適切な進路指導とそれに見合う態勢、大学段階ではほとんどの学生が職業選択へ向かう現在、帰属先発見を支える学部・学科・専攻等の整備が必要です。各校、それぞれの取組みが行われていますが、大状況に見られる変化の速度に見合っているのか、決定への躊躇はないのか、策定や決定の仕組みに問題はないのか。北星学園将来構想(グランドデザイン)の策定とも関連する事柄でもあり、

新年度以降にも検討を繋げねばなりません。

2. 一つの学園としてのより緊密な連携を

総合学園としての教育精神の継承や優位性を図るために、学園教職員の年間の行事である新年礼拝（1月）、新任職員研修会（4月）、学園研修会（7月）、クリスマス礼拝（12月）を実施しました。学園研修会では2018年度も午前中の講演などは教員と職員とが合同で開催し、午後からは分かれて実施しましたが、それぞれの課題の理解や情報交換ができたと評価されています。学園主催のクリスマス礼拝と祝会はマンネリ化を避けて趣向を凝らしたプログラムを設定しました。

今年度も学園内教育連携委員会を通して、高大連携活動に取り組みました。中学高校に配分されている各年度2000万円の政策予備費を学園内高大連携活動として、附属高校の「探究プログラム」、女子中学高校の「Core コース北星大私大系連携プログラム」などに有効に使用しました。また、各校の学校祭や体育祭、文化展、コンサート、クリスマス行事、商品開発などのイベントに参加しました。特に10月には附属高校の吹奏楽部の定期演奏会に当委員のみならず学園内に呼びかけた結果、大勢が参加しました。

なお、2019年度をもって区切りとなる政策予備費のあり方の検討が必要です。また、5年を経た「学園内高校推薦入学者の個人情報開示」は、進路指導の活用状況などの検証が必要です。

3. 学園キリスト教教育の推進について

建学の精神を具体化し、生徒・学生、教職員の宗教的霊的成長を目指してキリスト教活動を進めてきました。そのため、『サラ・スミスと女性宣教師』（2017年発行）や諸出版物を用いて創設者の教育精神を受け継ぐことに努めました。

7年目を経た「学園キリスト教センター」は運営委員会を中心に二人のスタッフとともに各校のクリスマス礼拝など宗教行事に参加し、必要に応じて援助してきました。今年度もまた、以下のようなキリスト教活動に取り組みました。

センター報『北星教育』（10号）、年報『北星教育と現代』（第7号）の発行、6月には「教会と学園教職員との対話」集会、11月には、「キリスト教(主義)学校でありつづけるために」の講演会を実施しました。また、冊子『Shine like stars in a dark world』や改訂版『北星学園とキリスト教』を新入生や新任教職員に配布しました。北星学園、北海道内（クララ・ローズなど）のキリスト教関係の資料の収集、整理に努めてきました。学園の年間聖句に従って、学園各校において祈りの会が実施されてきています。

4. 北星学園将来構想（グランドデザイン）の策定について

2018年9月に開催した理事会研究会での「将来構想策定の方向性」についての討論を経て、学園総合企画委員会で検討を開始しました。当初10年間を立案期間の目途としていましたが、文部科学省の中央教育審議会による「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」に倣い、2020年から2040年までの20年間を見据えたグランドデザインを総合的に検討するとともに、今後10年間で取り組むアクション・プラン（行動計画）を立案することとしました。

なお、学園内の各学校及び各委員会等に対し、2000年2月の学園将来構想で掲げていた「具体的方策」の各事項について、改めてその実施の必要性・可能性等の検討とともに新たに取り組むべき事項について検討するよう要請しました。また、事前準備として学長・校長等に対し、「建学の精神に基づく学校の理念」、「これまで社会に果たしてきた学校の役割」、「学校の

特徴と強み」及び「学校の未来」の4項目のアンケート・インタビューをコンサルティング会社に依頼し実施しました。

5. 取組むこととしていた個別重点課題について

1) スタッフ・ディベロップメント（SD）の取組みについて

「これからの北星学園—魅力ある総合学園を考える—」を主題とした学園研修会を開催しました。午前は、教員と事務・用務職員の合同で「教育機関における『チーム（職種間連携・協働）』が切り拓く可能性と課題」をテーマとした勝野正章東京大学大学院教授の基調講演とともに現在、札幌市防災協会の防災・危機管理専門官として活躍されている北星学園大学卒業生を迎えて「防火・防災の知識」を学びました。午後はそれぞれ分かれて、教員は「各校の魅力ある取組み」の事例報告を基に、テーマ毎10の分散会に分かれ意見交換し交流を図りました。また、事務・用務職員は、「学園の定める諸規程に基づく事務処理を徹底させるよう組織全体としてルールを確認すること」との理事長の指示を受け、「事務職員のビジネスマナー」を学ぶとともに「物品調達に係る手続き」を確認しました。

一昨年4月から義務化されたスタッフ・ディベロップメント（SD）に対する文部科学省通知では、その目的を大学等運営の高度化と位置付け、SDを事務職員の能力開発とは限定せず、教職員の協働関係の確立という観点から、目的に応じた柔軟な取組みが求められています。このことを踏まえ、学園将来構想の策定項目に「研修制度のあり方」を加え、学園研修会をはじめとする学園及び各学校が行うSD及びファカルティ・ディベロップメント（FD）等の組織的取組みについて検討することとしました。

2) 新給与体系への取組みについて

教職員組合に提示した「新給与体系（骨子原案等）について」及び「新給与体系・新定年制に係る組合提案」を基に、懇談会や事務レベルの協議を進めてきましたが、計画していた教職員に対する説明・意見聴取や新給与体系の具体案作成には至りませんでした。そのため、新給与体系への移行時期を2019年4月としていた「新給与体系の策定等に係るロードマップ（2018年3月29日付け北星理発第223号）」を変更し、その取組みを継続することとしました。

新給与体系への取組みは、学園財政の健全化へつなげる重要課題です。また、教職員の働き方改革（就業環境の改善）においても重要な課題となることを認識し、学園将来構想の一環として次年度も引き続き学園人事制度検討委員会及び学園総合企画委員会において検討を行っていきます。

以上

3. 財務の概要

(1) 学校法人会計について

学校法人が作成する計算書類は、資金収支計算書及びこれに基づき作成する活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表とそれぞれについて定められた内訳表や附属明細表である。また、私立学校法の定めにより財産目録と事業報告書を作成する。

資金収支計算の目的は、学校法人が行う当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金(現金といつでも引き出すことのできる預貯金のこと)のてん末を明らかにすることである。

事業活動収支計算の目的は次の2点である。

- ① 学校法人が行う当該会計年度の次に掲げる活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにすること。
 - i. 教育活動
 - ii. 教育活動以外の経常的な活動
 - iii. i と ii 以外の活動
- ② 該年度に組入れる基本金の額を控除した、当該会計年度の諸活動に対する事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにすること。

事業活動収入は、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入を計上し、借入金のような学校法人の負債となる収入は含まれない収入である。

事業活動支出は、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び当該会計年度における用役の対価に基づいて計上し、運営に必要な消耗品等の各種経費や給与等の資金支出を伴う費用と、非資金支出である減価償却費や退職給与引当金繰入額等を含む支出である。

基本金とは、学校法人がその諸活動に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入のうちから組入れた金額のことである。

事業活動収入から事業活動支出を差し引いた額を基本金組入前当年度収支差額といい、短期的な収支の均衡を表す。基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した額を当年度収支差額といい、これと基本金取崩額を累計した翌年度繰越収支差額により長期的な収支の均衡を表す。

貸借対照表は、年度末における財政状態を表すものである。資産の部、負債の部、純資産の部からなり、負債の部と純資産の部は資金の調達源泉を表し、資産の部は調達した資金をどのように保有しているかを表す。資産の部の合計金額は、負債の部と純資産の部の合計金額と一致する。また、学校法人の資産の評価は、原則として取得価額をもってすることと定められている。

(2) 財 産 目 録

| 科 目 | (2 0 1 8 年 度 末) | |
|------------------------------|---------------------------|-------------------------|
| [1] 資 産 | | 29,438,508,079 円 |
| (1) 基 本 財 産 | | 16,506,426,918 円 |
| 1 土 地 | 405,005.71 m ² | 1,615,181,007 円 |
| (i) 大谷地校地 | 115,166.00 m ² | 346,608,943 円 |
| (ii) 南4条校地 | 22,289.00 m ² | 805,924,657 円 |
| (iii) 盤溪校地 | 166,292.71 m ² | 7,632,743 円 |
| (iv) 下野幌校地 | 50,122.00 m ² | 427,790,624 円 |
| (v) 余市校地 | 50,343.00 m ² | 27,134,760 円 |
| (iv) 洞爺校地 | 793.00 m ² | 89,280 円 |
| 2 建 物 | 98,973.96 m ² | 10,591,823,363 円 |
| (i) 校 舎 | 65,790.51 m ² | 7,381,473,486 円 |
| (ii) 図書館 | 6,239.42 m ² | 683,811,001 円 |
| (iii) 体育館・講堂 | 15,763.98 m ² | 1,574,022,564 円 |
| (iv) 寄宿舎 | 1,359.10 m ² | 107,753,541 円 |
| (v) その他 | 9,820.95 m ² | 844,762,771 円 |
| 3 構 築 物 | 459 点 | 497,500,117 円 |
| 4 図 書 | 584,628 冊 | 2,556,916,834 円 |
| 5 教 具 ・ 校 具 及 び 備 品 | 3,958 点 | 815,280,036 円 |
| (i) 教 具 ・ 校 具 | 3,668 点 | 771,146,745 円 |
| (ii) その他の備品 | 290 点 | 44,133,291 円 |
| 5 車 輜 | 3 点 | 705,991 円 |
| 6 ソフトウェア | 69 点 | 38,440,523 円 |
| 7 積立金 | | 390,579,047 円 |
| (2) 運 用 財 産 | | 12,932,081,161 円 |
| 1 預金、現金 | | 1,076,794,341 円 |
| (i) 現 金 | | 1,197,837 円 |
| (ii) 普通預金 | | 936,381,839 円 |
| (iii) 定期預金 | | 138,607,010 円 |
| (iv) 振替預金 | | 607,655 円 |
| 2 積立金 | | 11,533,636,000 円 |
| 3 有価証券 | | 29,025,953 円 |
| 4 差入保証金 | | 282,000 円 |
| 5 不動産 | | 0 円 |
| (i) 土 地 | 30.00 m ² | 0 円 |
| 7 未収入金 | | 254,727,807 円 |
| 8 貸付金 | | 22,936,912 円 |
| 9 電話加入権 | | 4,788,630 円 |
| 10 出資金 | | 300,000 円 |
| 11 仮払金 | | 4,957,025 円 |
| 12 前払金 | | 4,632,493 円 |
| [2] 負 債 | | 5,603,159,012 円 |
| (1) 固 定 負 債 | | 3,856,646,762 円 |
| 1 長期借入金 | | 2,291,760,000 円 |
| (i) 日本私立学校振興・共済事業団 | | 1,252,020,000 円 |
| (ii) 北海道私学振興基金協会 | | 1,039,740,000 円 |
| 2 退職給与引当金 | | 1,564,886,762 円 |
| (2) 流 動 負 債 | | 1,746,512,250 円 |
| 1 短期借入金 | | 347,950,000 円 |
| 2 未 払 金 | | 393,820,422 円 |
| 3 前 受 金 | | 865,733,250 円 |
| 4 預 り 金 | | 139,008,578 円 |
| [3] 正 味 財 産 [1] - [2] | | 23,835,349,067 円 |

(3) 貸借対照表

平成31年3月31日

(単位:円)

| 資 産 の 部 | | | |
|--------------|----------------|----------------|--------------|
| 科 目 | 本 年 度 末 | 前 年 度 末 | 増 減 |
| 固定資産 | 28,084,370,292 | 27,925,438,191 | 158,932,101 |
| 有形固定資産 | 16,077,407,348 | 16,340,943,183 | △263,535,835 |
| 土地 | 1,615,181,007 | 1,615,181,007 | 0 |
| 建物 | 10,591,823,363 | 10,830,620,473 | △238,797,110 |
| 構築物 | 497,500,117 | 520,924,635 | △23,424,518 |
| 教育研究用機器備品 | 771,146,745 | 805,261,511 | △34,114,766 |
| 管理用機器備品 | 44,133,291 | 47,715,626 | △3,582,335 |
| 図書 | 2,556,916,834 | 2,520,533,940 | 36,382,894 |
| 車輛 | 705,991 | 705,991 | 0 |
| 特定資産 | 11,924,215,047 | 11,482,624,047 | 441,591,000 |
| 第3号基本金引当特定資産 | 390,579,047 | 389,988,047 | 591,000 |
| 退職給与引当特定資産 | 813,000,000 | 813,000,000 | 0 |
| 減価償却引当特定資産 | 10,321,000,000 | 9,880,000,000 | 441,000,000 |
| 大学奨学金引当特定資産 | 399,636,000 | 399,636,000 | 0 |
| その他の固定資産 | 82,747,897 | 101,870,961 | △19,123,064 |
| 電話加入権 | 4,788,630 | 4,788,630 | 0 |
| ソフトウェア | 38,440,523 | 53,599,688 | △15,159,165 |
| 有価証券 | 29,025,953 | 29,616,953 | △591,000 |
| 差入保証金 | 282,000 | 282,000 | 0 |
| 出資金 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 長期貸付金 | 8,269,351 | 11,897,850 | △3,628,499 |
| 長期前払金 | 1,641,440 | 1,385,840 | 255,600 |
| 流動資産 | 1,354,137,787 | 1,564,325,184 | △210,187,397 |
| 現金預金 | 1,076,794,341 | 1,266,973,207 | △190,178,866 |
| 未収入金 | 254,727,807 | 266,663,187 | △11,935,380 |
| 短期貸付金 | 14,667,561 | 16,850,470 | △2,182,909 |
| 前払金 | 2,991,053 | 12,430,396 | △9,439,343 |
| 仮払金 | 4,957,025 | 1,407,924 | 3,549,101 |
| 資産の部合計 | 29,438,508,079 | 29,489,763,375 | △51,255,296 |
| 負 債 の 部 | | | |
| 科 目 | 本 年 度 末 | 前 年 度 末 | 増 減 |
| 固定負債 | 3,856,646,762 | 4,018,418,390 | △161,771,628 |
| 長期借入金 | 2,291,760,000 | 2,459,710,000 | △167,950,000 |
| 退職給与引当金 | 1,564,886,762 | 1,558,708,390 | 6,178,372 |
| 流動負債 | 1,746,512,250 | 1,767,342,804 | △20,830,554 |
| 短期借入金 | 347,950,000 | 335,950,000 | 12,000,000 |
| 未払金 | 393,820,422 | 405,523,586 | △11,703,164 |
| 前受金 | 865,733,250 | 888,194,500 | △22,461,250 |
| 預り金 | 139,008,578 | 137,674,718 | 1,333,860 |
| 負債の部合計 | 5,603,159,012 | 5,785,761,194 | △182,602,182 |

| 純資産の部 | | | |
|-------------|----------------|----------------|--------------|
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 基本金 | 26,136,290,940 | 25,823,983,830 | 312,307,110 |
| 第1号基本金 | 25,238,711,893 | 24,926,995,783 | 311,716,110 |
| 第3号基本金 | 390,579,047 | 389,988,047 | 591,000 |
| 第4号基本金 | 507,000,000 | 507,000,000 | 0 |
| 繰越収支差額 | △2,300,941,873 | △2,119,981,649 | △180,960,224 |
| 翌年度繰越収支差額 | △2,300,941,873 | △2,119,981,649 | △180,960,224 |
| 純資産の部合計 | 23,835,349,067 | 23,704,002,181 | 131,346,886 |
| 負債及び純資産の部合計 | 29,438,508,079 | 29,489,763,375 | △51,255,296 |

注 記 1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

① 徴収不能引当金

金銭債権の徴収不能に備えるため、一般債権については徴収不能実績率等により、徴収不能懸念債権については個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

② 退職給与引当金

大学及び短大等の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額1,752,892,519円の100%を基にして、公益財団法人私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。

また、高等学校以下の教員に係る退職給与引当金については、期末要支給額921,235,269円から公益社団法人北海道私学退職金社団からの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

① 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

② 外貨建資産・負債等の本邦通貨への換算基準

外貨建短期金銭債権債務については、期末時の為替相場により円換算しており、外貨建長期金銭債権債務については、取得時又は発生時の為替相場により円換算している。

③ 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金及び仮払金に係る収入と支出は相殺して表示している。

④ 食堂その他教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法

補助活動に係る収支は総額で表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

10,322,955,547円

4. 徴収不能引当金の合計額

5,246,164円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は次のとおりである。

土 地 1,099,654,784円

建 物 7,102,736,786円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

1,204,092,940円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策
第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報

①総括表

(単位:円)

| 種 目 | 勘定科目 | 当年度(平成31年3月31日) | | |
|------------------------|--------------|-----------------|----------------|---------------|
| | | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 差 額 |
| 時価が貸借対照表 計上額を超えるもの | 第3号基本金引当特定資産 | 390,579,047 | 497,686,158 | 107,107,111 |
| | 退職給与引当特定資産 | 246,000,000 | 265,110,697 | 19,110,697 |
| | 減価償却引当特定資産 | 7,578,207,010 | 8,581,468,151 | 1,003,261,141 |
| | 大学奨学金引当特定資産 | 399,636,000 | 422,914,513 | 23,278,513 |
| | 有価証券(固定資産) | 29,025,953 | 37,398,242 | 8,372,289 |
| 小 計 | | 8,643,448,010 | 9,804,577,761 | 1,161,129,751 |
| (うち満期保有目的の債券) | | (0) | (0) | (0) |
| 時価が貸借対照表 計上額を超えないもの | 退職給与引当特定資産 | 567,000,000 | 547,131,960 | △19,868,040 |
| | 減価償却引当特定資産 | 2,231,400,000 | 2,172,592,040 | △58,807,960 |
| 小 計 | | 2,798,400,000 | 2,719,724,000 | △78,676,000 |
| (うち満期保有目的の債券) | | (0) | (0) | (0) |
| 時価のある有価証券計 | 第3号基本金引当特定資産 | 390,579,047 | 497,686,158 | 107,107,111 |
| | 退職給与引当特定資産 | 813,000,000 | 812,242,657 | △757,343 |
| | 減価償却引当特定資産 | 9,809,607,010 | 10,754,060,191 | 944,453,181 |
| | 大学奨学金引当特定資産 | 399,636,000 | 422,914,513 | 23,278,513 |
| | 有価証券(固定資産) | 29,025,953 | 37,398,242 | 8,372,289 |
| 時価のある有価証券合計 | | 11,441,848,010 | 12,524,301,761 | 1,082,453,751 |
| (うち満期保有目的の債券) | | (0) | (0) | (0) |
| 有価証券計 | 第3号基本金引当特定資産 | 390,579,047 | | |
| | 退職給与引当特定資産 | 813,000,000 | | |
| | 減価償却引当特定資産 | 9,809,607,010 | | |
| | 大学奨学金引当特定資産 | 399,636,000 | | |
| | 有価証券(固定資産) | 29,025,953 | | |
| 合 計 | | 11,441,848,010 | | |

②明細表

(単位:円)

| 種 目 | 勘定科目 | 当年度(平成31年3月31日) | | |
|------|--------------|-----------------|----------------|-------------|
| | | 貸借対照表計上額 | 時 価 | 差 額 |
| 債券 | 第3号基本金引当特定資産 | 390,579,047 | 497,686,158 | 107,107,111 |
| | 退職給与引当特定資産 | 813,000,000 | 812,242,657 | △757,343 |
| | 減価償却引当特定資産 | 9,809,607,010 | 10,754,060,191 | 944,453,181 |
| | 大学奨学金引当特定資産 | 399,636,000 | 422,914,513 | 23,278,513 |
| | 有価証券(固定資産) | 29,025,953 | 37,398,242 | 8,372,289 |
| 株式 | — | — | — | — |
| 投資信託 | — | — | — | — |
| 貸付信託 | — | — | — | — |
| その他 | — | — | — | — |
| 合計 | 第3号基本金引当特定資産 | 390,579,047 | 497,686,158 | 107,107,111 |
| | 退職給与引当特定資産 | 813,000,000 | 812,242,657 | △757,343 |
| | 減価償却引当特定資産 | 9,809,607,010 | 10,754,060,191 | 944,453,181 |
| | 大学奨学金引当特定資産 | 399,636,000 | 422,914,513 | 23,278,513 |
| | 有価証券(固定資産) | 29,025,953 | 37,398,242 | 8,372,289 |

(4) 資金収支計算書

平成30年4月 1日から
平成31年3月31日まで

(単位:円)

| 収入の部 | | | |
|-------------------|---------------|---------------|-------------|
| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
| 学生生徒等納付金収入 | 5,141,964,000 | 5,145,196,850 | △3,232,850 |
| 授業料収入 | 4,058,159,000 | 4,066,286,750 | △8,127,750 |
| 入学金収入 | 397,445,000 | 398,725,000 | △1,280,000 |
| 実験実習料収入 | 19,397,000 | 19,480,000 | △83,000 |
| 施設設備資金収入 | 10,480,000 | 9,583,750 | 896,250 |
| 学生生徒諸料収入 | 656,483,000 | 651,121,350 | 5,361,650 |
| 手数料収入 | 118,213,000 | 123,089,872 | △4,876,872 |
| 入学検定料収入 | 111,345,000 | 116,104,000 | △4,759,000 |
| 試験料収入 | 16,000 | 35,500 | △19,500 |
| 証明手数料収入 | 2,020,000 | 2,056,678 | △36,678 |
| 大学入試センター試験実施手数料収入 | 4,539,000 | 4,600,694 | △61,694 |
| その他の手数料収入 | 293,000 | 293,000 | 0 |
| 寄付金収入 | 97,246,000 | 104,346,844 | △7,100,844 |
| 特別寄付金収入 | 52,149,000 | 58,766,058 | △6,617,058 |
| 一般寄付金収入 | 45,097,000 | 45,580,786 | △483,786 |
| 補助金収入 | 1,125,934,000 | 1,150,035,989 | △24,101,989 |
| 国庫補助金収入 | 388,971,000 | 407,762,066 | △18,791,066 |
| 地方公共団体補助金収入 | 736,963,000 | 742,273,923 | △5,310,923 |
| 資産売却収入 | 5,000,000 | 6,006,620 | △1,006,620 |
| 設備売却収入 | 0 | 415,620 | △415,620 |
| 有価証券売却収入 | 5,000,000 | 5,591,000 | △591,000 |
| 付随事業・収益事業収入 | 100,344,000 | 97,211,750 | 3,132,250 |
| 補助活動収入 | 58,823,000 | 59,551,250 | △728,250 |
| 免許状更新講習料収入 | 336,000 | 336,000 | 0 |
| 公開講座収入 | 41,185,000 | 37,324,500 | 3,860,500 |
| 受取利息・配当金収入 | 240,760,000 | 243,786,485 | △3,026,485 |
| 第3号基本金引当特定資産運用収入 | 8,349,000 | 8,350,090 | △1,090 |
| その他の受取利息・配当金収入 | 232,411,000 | 235,436,395 | △3,025,395 |
| 雑収入 | 353,337,000 | 396,619,189 | △43,282,189 |
| 施設設備利用料収入 | 9,815,000 | 9,225,225 | 589,775 |
| 廃品売却収入 | 83,000 | 83,019 | △19 |
| 印刷複写収入 | 795,000 | 825,092 | △30,092 |
| 私大退職金財団交付金収入 | 183,415,000 | 209,569,140 | △26,154,140 |
| 私学退職金社団交付金収入 | 21,274,000 | 38,523,200 | △17,249,200 |
| その他の雑収入 | 137,519,000 | 137,934,264 | △415,264 |
| 過年度修正収入 | 436,000 | 459,249 | △23,249 |
| 借入金等収入 | 270,000,000 | 270,000,000 | 0 |
| 長期借入金収入 | 180,000,000 | 180,000,000 | 0 |
| 短期借入金収入 | 90,000,000 | 90,000,000 | 0 |
| 前受金収入 | 894,357,000 | 865,733,250 | 28,623,750 |
| 授業料前受金収入 | 429,825,000 | 411,696,250 | 18,128,750 |
| 入学金前受金収入 | 379,730,000 | 373,055,000 | 6,675,000 |
| 学生生徒諸料前受金収入 | 78,950,000 | 77,732,500 | 1,217,500 |
| 入寮費前受金収入 | 1,000,000 | 1,100,000 | △100,000 |
| その他の前受金収入 | 4,852,000 | 2,149,500 | 2,702,500 |

| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|----------------|----------------|----------------|--------------|
| その他の収入 | 282,663,000 | 816,748,269 | △534,085,269 |
| 退職給与引当特定資産取崩収入 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 |
| 減価償却引当特定資産取崩収入 | 0 | 539,671,540 | △539,671,540 |
| 前期末未収入金収入 | 266,663,000 | 266,115,461 | 547,539 |
| 貸付金回収収入 | 13,000,000 | 9,627,408 | 3,372,592 |
| 預り金受入収入 | 0 | 1,333,860 | △1,333,860 |
| 資金収入調整勘定 | △1,109,207,000 | △1,152,999,745 | 43,792,745 |
| 期末未収入金 | △221,012,000 | △264,805,245 | 43,793,245 |
| 前期末前受金 | △888,195,000 | △888,194,500 | △500 |
| 前年度繰越支払資金 | 1,266,973,207 | 1,266,973,207 | |
| 収入の部合計 | 8,787,584,207 | 9,332,748,580 | △545,164,373 |
| 支 出 の 部 | | | |
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 人件費支出 | 4,575,143,000 | 4,631,214,378 | △56,071,378 |
| 教員人件費支出 | 3,107,035,000 | 3,116,254,836 | △9,219,836 |
| 職員人件費支出 | 1,154,619,000 | 1,152,780,914 | 1,838,086 |
| 役員報酬支出 | 27,892,000 | 27,646,356 | 245,644 |
| 退職金支出 | 285,597,000 | 334,532,272 | △48,935,272 |
| 教育研究経費支出 | 1,469,179,000 | 1,402,614,578 | 66,564,422 |
| 消耗品費支出 | 87,235,000 | 70,475,984 | 16,759,016 |
| 旅費交通費支出 | 140,004,000 | 125,700,585 | 14,303,415 |
| 通信運搬費支出 | 18,581,000 | 19,188,592 | △607,592 |
| 印刷製本費支出 | 63,385,000 | 59,560,372 | 3,824,628 |
| 雑誌資料費支出 | 96,618,000 | 93,199,712 | 3,418,288 |
| 会議・渉外費支出 | 12,706,000 | 9,983,517 | 2,722,483 |
| 委託報酬手数料支出 | 445,179,000 | 438,008,057 | 7,170,943 |
| 奨学費支出 | 207,187,000 | 204,643,743 | 2,543,257 |
| 福利費支出 | 430,000 | 388,318 | 41,682 |
| 諸会費支出 | 8,350,000 | 8,374,257 | △24,257 |
| 課外活動援助費支出 | 13,794,000 | 12,725,071 | 1,068,929 |
| 光熱水費支出 | 166,806,000 | 154,210,515 | 12,595,485 |
| 修繕費支出 | 150,383,000 | 147,669,280 | 2,713,720 |
| 損害保険料支出 | 13,270,000 | 13,378,370 | △108,370 |
| 広告費支出 | 1,810,000 | 1,371,600 | 438,400 |
| 賃借料支出 | 37,751,000 | 37,368,657 | 382,343 |
| 資産除去費支出 | 5,647,000 | 6,264,718 | △617,718 |
| 雑費支出 | 43,000 | 103,230 | △60,230 |
| 管理経費支出 | 517,635,000 | 495,364,195 | 22,270,805 |
| 消耗品費支出 | 7,428,000 | 6,609,123 | 818,877 |
| 旅費交通費支出 | 31,564,000 | 29,086,857 | 2,477,143 |
| 通信運搬費支出 | 19,928,000 | 20,241,236 | △313,236 |
| 印刷製本費支出 | 79,920,000 | 78,634,535 | 1,285,465 |
| 雑誌資料費支出 | 1,476,000 | 1,745,926 | △269,926 |
| 会議・渉外費支出 | 25,642,000 | 21,695,417 | 3,946,583 |
| 委託報酬手数料支出 | 95,074,000 | 87,869,475 | 7,204,525 |
| 広告費支出 | 112,948,000 | 109,701,630 | 3,246,370 |
| 福利費支出 | 10,003,000 | 9,726,192 | 276,808 |
| 諸会費支出 | 9,529,000 | 9,422,883 | 106,117 |
| 補助活動支出 | 43,602,000 | 44,655,394 | △1,053,394 |
| 光熱水費支出 | 19,126,000 | 17,683,639 | 1,442,361 |

| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|------------------|---------------|---------------|--------------|
| 修繕費支出 | 10,954,000 | 7,848,753 | 3,105,247 |
| 損害保険料支出 | 946,000 | 980,141 | △34,141 |
| 公租公課支出 | 7,731,000 | 6,140,070 | 1,590,930 |
| 賃借料支出 | 5,057,000 | 5,086,296 | △29,296 |
| 資産除去費支出 | 2,348,000 | 2,691,579 | △343,579 |
| 私立大学等経常費補助金返還金支出 | 2,897,000 | 2,896,500 | 500 |
| 雑費支出 | 1,730,000 | 1,869,287 | △139,287 |
| 過年度修正支出 | 29,732,000 | 30,779,262 | △1,047,262 |
| 借入金等利息支出 | 9,293,000 | 9,291,752 | 1,248 |
| 借入金利息支出 | 9,293,000 | 9,291,752 | 1,248 |
| 借入金等返済支出 | 425,950,000 | 425,950,000 | 0 |
| 借入金返済支出 | 425,950,000 | 425,950,000 | 0 |
| 施設関係支出 | 123,066,000 | 122,683,475 | 382,525 |
| 建物支出 | 110,687,000 | 111,089,572 | △402,572 |
| 構築物支出 | 12,379,000 | 11,593,903 | 785,097 |
| 設備関係支出 | 179,055,000 | 177,654,799 | 1,400,201 |
| 教育研究用機器備品支出 | 101,139,000 | 103,563,955 | △2,424,955 |
| 管理用機器備品支出 | 2,927,000 | 1,796,312 | 1,130,688 |
| 図書支出 | 67,760,000 | 65,627,556 | 2,132,444 |
| ソフトウェア支出 | 7,229,000 | 6,666,976 | 562,024 |
| 資産運用支出 | 453,581,000 | 981,262,540 | △527,681,540 |
| 第3号基本金引当特定資産繰入支出 | 581,000 | 591,000 | △10,000 |
| 退職給与引当特定資産繰入支出 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 |
| 減価償却引当特定資産繰入支出 | 450,000,000 | 980,671,540 | △530,671,540 |
| その他の支出 | 415,747,000 | 415,365,374 | 381,626 |
| 貸付金支払支出 | 7,500,000 | 3,850,000 | 3,650,000 |
| 前期末未払金支払支出 | 405,525,000 | 405,523,586 | 1,414 |
| 前払金支払支出 | 2,722,000 | 2,442,687 | 279,313 |
| 仮払金支払支出 | 0 | 3,549,101 | △3,549,101 |
| [予備費] | (0) | | |
| | 13,000,000 | | 13,000,000 |
| 資金支出調整勘定 | △356,328,000 | △405,446,852 | 49,118,852 |
| 期末未払金 | △345,708,000 | △393,820,422 | 48,112,422 |
| 前期末前払金 | △10,620,000 | △11,626,430 | 1,006,430 |
| 翌年度繰越支払資金 | 962,263,207 | 1,076,794,341 | △114,531,134 |
| 支出の部合計 | 8,787,584,207 | 9,332,748,580 | △545,164,373 |

(5) 活動区分資金収支計算書

平成30年4月 1日から
平成31年3月31日まで

(単位:円)

| | | 科 目 | 金 額 |
|----------------|------------------------------|----------------|---------------|
| 教育活動による資金収支 | 収入 | 学生生徒等納付金収入 | 5,145,196,850 |
| | | 手数料収入 | 123,089,872 |
| | | 特別寄付金収入 | 40,331,558 |
| | | 一般寄付金収入 | 45,580,786 |
| | | 経常費等補助金収入 | 1,135,847,923 |
| | | 付随事業収入 | 97,211,750 |
| | | 雑収入 | 396,159,940 |
| | | 教育活動資金収入計 | 6,983,418,679 |
| | 支出 | 人件費支出 | 4,631,214,378 |
| | | 教育研究経費支出 | 1,402,614,578 |
| | | 管理経費支出 | 464,584,933 |
| | | 教育活動資金支出計 | 6,498,413,889 |
| | | 差引 | 485,004,790 |
| | 調整勘定等 | △ 28,293,455 | |
| | 教育活動資金収支差額 | 456,711,335 | |
| 施設整備等活動による資金収支 | 科 目 | | 金 額 |
| | 収入 | 施設設備寄付金収入 | 18,434,500 |
| | | 施設設備補助金収入 | 14,188,066 |
| | | 施設設備売却収入 | 415,620 |
| | | 減価償却引当特定資産取崩収入 | 539,671,540 |
| | | 施設整備等活動資金収入計 | 572,709,726 |
| | 支出 | 施設関係支出 | 122,683,475 |
| | | 設備関係支出 | 177,654,799 |
| | | 減価償却引当特定資産繰入支出 | 980,671,540 |
| | | 施設整備等活動資金支出計 | 1,281,009,814 |
| | | 差引 | △ 708,300,088 |
| | 調整勘定等 | 4,623,000 | |
| | 施設整備等活動資金収支差額 | △ 703,677,088 | |
| | 小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) | △ 246,965,753 | |

| | | 科 目 | 金 額 |
|---------------------------|------------|------------------|-------------|
| その他の活動による資金収支 | 収入 | 借入金等収入 | 270,000,000 |
| | | 有価証券売却収入 | 5,591,000 |
| | | 貸付金回収収入 | 9,627,408 |
| | | 預り金受入収入 | 1,333,860 |
| | | 小計 | 286,552,268 |
| | | 受取利息・配当金収入 | 243,786,485 |
| | | 過年度修正収入 | 459,249 |
| | | その他の活動資金収入計 | 530,798,002 |
| | 支出 | 借入金等返済支出 | 425,950,000 |
| | | 第3号基本金引当特定資産繰入支出 | 591,000 |
| | | 貸付金支払支出 | 3,850,000 |
| | | 仮払金支払支出 | 3,549,101 |
| | | 小計 | 433,940,101 |
| | | 借入金等利息支出 | 9,291,752 |
| | | 過年度修正支出 | 30,779,262 |
| その他の活動資金支出計 | | 474,011,115 | |
| 差引 | 56,786,887 | | |
| 調整勘定等 | 0 | | |
| その他の活動資金収支差額 | 56,786,887 | | |
| 支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額) | | △ 190,178,866 | |
| 前年度繰越支払資金 | | 1,266,973,207 | |
| 翌年度繰越支払資金 | | 1,076,794,341 | |

注記 活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位:円)

| 項 目 | 資金収支 計算書計上額 | 教育活動 による資金収支 | 施設整備等活動 による資金収支 | その他の活動 による資金収支 |
|------------|----------------|-----------------|--------------------|-------------------|
| 前受金収入 | 865,733,250 | 865,733,250 | 0 | 0 |
| 前期末未収入金収入 | 266,115,461 | 258,250,461 | 7,865,000 | 0 |
| 期末未収入金 | △264,805,245 | △261,563,245 | △3,242,000 | 0 |
| 前期末前受金 | △888,194,500 | △888,194,500 | 0 | 0 |
| 収入計 | △21,151,034 | △25,774,034 | 4,623,000 | 0 |
| 前期末未払金支払支出 | 405,523,586 | 405,523,586 | 0 | 0 |
| 前払金支払支出 | 2,442,687 | 2,442,687 | 0 | 0 |
| 期末未払金 | △393,820,422 | △393,820,422 | 0 | 0 |
| 前期末前払金 | △11,626,430 | △11,626,430 | 0 | 0 |
| 支出計 | 2,519,421 | 2,519,421 | 0 | 0 |
| 収入計-支出計 | △23,670,455 | △28,293,455 | 4,623,000 | 0 |

(6) 事業活動収支計算書

平成30年4月 1日から
平成31年3月31日まで

(単位:円)

| | | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|-------------|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 5,141,964,000 | 5,145,196,850 | △3,232,850 |
| | | 授業料 | 4,058,159,000 | 4,066,286,750 | △8,127,750 |
| | | 入学金 | 397,445,000 | 398,725,000 | △1,280,000 |
| | | 実験実習料 | 19,397,000 | 19,480,000 | △83,000 |
| | | 施設設備資金 | 10,480,000 | 9,583,750 | 896,250 |
| | | 学生生徒諸料 | 656,483,000 | 651,121,350 | 5,361,650 |
| | | 手数料 | 118,213,000 | 123,089,872 | △4,876,872 |
| | | 入学検定料 | 111,345,000 | 116,104,000 | △4,759,000 |
| | | 試験料 | 16,000 | 35,500 | △19,500 |
| | | 証明手数料 | 2,020,000 | 2,056,678 | △36,678 |
| | | 大学入試センター試験実施手数料 | 4,539,000 | 4,600,694 | △61,694 |
| | | その他の手数料 | 293,000 | 293,000 | 0 |
| | | 寄付金 | 79,517,000 | 85,912,344 | △6,395,344 |
| | | 特別寄付金 | 34,420,000 | 40,331,558 | △5,911,558 |
| | | 一般寄付金 | 45,097,000 | 45,580,786 | △483,786 |
| | | 経常費等補助金 | 1,115,246,000 | 1,135,847,923 | △20,601,923 |
| | | 国庫補助金 | 380,599,000 | 396,165,000 | △15,566,000 |
| | | 地方公共団体補助金 | 734,647,000 | 739,682,923 | △5,035,923 |
| | | 付随事業収入 | 100,344,000 | 97,211,750 | 3,132,250 |
| | | 補助活動収入 | 58,823,000 | 59,551,250 | △728,250 |
| | | 免許状更新講習料 | 336,000 | 336,000 | 0 |
| | | 公開講座収入 | 41,185,000 | 37,324,500 | 3,860,500 |
| | | 雑収入 | 352,901,000 | 396,475,931 | △43,574,931 |
| | | 施設設備利用料 | 9,815,000 | 9,225,225 | 589,775 |
| | | 廃品売却収入 | 83,000 | 83,019 | △19 |
| | | 印刷複写収入 | 795,000 | 825,092 | △30,092 |
| | | 私大退職金財団交付金 | 183,415,000 | 209,569,140 | △26,154,140 |
| 私学退職金社団交付金 | 21,274,000 | 38,523,200 | △17,249,200 | | |
| その他の雑収入 | 137,519,000 | 138,250,255 | △731,255 | | |
| 教育活動収入計 | 6,908,185,000 | 6,983,734,670 | △75,549,670 | | |
| 事業活動支出の部 | 事業活動支出の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 人件費 | 4,582,655,000 | 4,637,708,741 | △55,053,741 |
| | | 教員人件費 | 3,107,035,000 | 3,116,254,836 | △9,219,836 |
| | | 職員人件費 | 1,154,619,000 | 1,152,780,914 | 1,838,086 |
| | | 役員報酬 | 27,892,000 | 27,646,356 | 245,644 |
| | | 退職給与引当金繰入額 | 205,537,000 | 228,296,060 | △22,759,060 |
| | | 退職金 | 87,572,000 | 112,730,575 | △25,158,575 |
| | | 教育研究経費 | 1,973,722,000 | 1,906,299,438 | 67,422,562 |
| | | 消耗品費 | 87,235,000 | 70,475,984 | 16,759,016 |
| | | 旅費交通費 | 140,004,000 | 125,700,585 | 14,303,415 |
| | | 通信運搬費 | 18,581,000 | 19,188,592 | △607,592 |
| | | 印刷製本費 | 63,385,000 | 59,560,372 | 3,824,628 |
| | | 雑誌資料費 | 96,618,000 | 93,199,712 | 3,418,288 |
| | | 会議・渉外費 | 12,706,000 | 9,983,517 | 2,722,483 |
| 委託報酬手数料 | 445,179,000 | 438,008,057 | 7,170,943 | | |

| | | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|------------|---------------|------------------|-------------|--------------|------------|
| 教育活動収支 | 事業活動支出の部 | 奨学費 | 207,187,000 | 204,643,743 | 2,543,257 |
| | | 福利費 | 430,000 | 388,318 | 41,682 |
| | | 諸会費 | 8,350,000 | 8,374,257 | △24,257 |
| | | 課外活動援助費 | 13,794,000 | 12,725,071 | 1,068,929 |
| | | 光熱水費 | 166,806,000 | 154,210,515 | 12,595,485 |
| | | 修繕費 | 150,383,000 | 147,669,280 | 2,713,720 |
| | | 損害保険料 | 13,270,000 | 13,378,370 | △108,370 |
| | | 広告費 | 1,810,000 | 1,371,600 | 438,400 |
| | | 賃借料 | 37,751,000 | 37,368,657 | 382,343 |
| | | 資産除去費 | 5,647,000 | 6,264,718 | △617,718 |
| | | 雑費 | 43,000 | 103,230 | △60,230 |
| | | 減価償却額 | 504,543,000 | 503,684,860 | 858,140 |
| | | 管理経費 | 518,181,000 | 495,021,984 | 23,159,016 |
| | | 消耗品費 | 7,428,000 | 6,609,123 | 818,877 |
| | | 旅費交通費 | 31,564,000 | 29,086,857 | 2,477,143 |
| | | 通信運搬費 | 19,928,000 | 20,241,236 | △313,236 |
| | | 印刷製本費 | 79,920,000 | 78,634,535 | 1,285,465 |
| | | 雑誌資料費 | 1,476,000 | 1,745,926 | △269,926 |
| | | 会議・渉外費 | 25,642,000 | 21,695,417 | 3,946,583 |
| | | 委託報酬手数料 | 95,074,000 | 87,869,475 | 7,204,525 |
| | | 広告費 | 112,948,000 | 109,701,630 | 3,246,370 |
| | | 福利費 | 10,003,000 | 9,726,192 | 276,808 |
| | | 諸会費 | 9,529,000 | 9,422,883 | 106,117 |
| | | 補助活動 | 43,602,000 | 44,655,394 | △1,053,394 |
| | | 光熱水費 | 19,126,000 | 17,683,639 | 1,442,361 |
| | | 修繕費 | 10,954,000 | 7,848,753 | 3,105,247 |
| | | 損害保険料 | 946,000 | 980,141 | △34,141 |
| | | 公租公課 | 7,731,000 | 6,140,070 | 1,590,930 |
| | | 賃借料 | 5,057,000 | 5,086,296 | △29,296 |
| | | 資産除去費 | 2,348,000 | 2,691,579 | △343,579 |
| | | 私立大学等経常費補助金返還金 | 2,897,000 | 2,896,500 | 500 |
| | | 雑費 | 1,730,000 | 2,075,427 | △345,427 |
| | | 減価償却額 | 30,278,000 | 30,230,911 | 47,089 |
| 徴収不能額等 | 13,965,000 | 10,659,164 | 3,305,836 | | |
| 徴収不能引当金繰入額 | 500,000 | 889,164 | △389,164 | | |
| 徴収不能額 | 13,465,000 | 9,770,000 | 3,695,000 | | |
| 教育活動支出計 | 7,088,523,000 | 7,049,689,327 | 38,833,673 | | |
| 教育活動収支差額 | | △180,338,000 | △65,954,657 | △114,383,343 | |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 受取利息・配当金 | 240,760,000 | 243,786,485 | △3,026,485 |
| | | 第3号基本金引当特定資産運用収入 | 8,349,000 | 8,350,090 | △1,090 |
| | | その他の受取利息・配当金 | 232,411,000 | 235,436,395 | △3,025,395 |
| | | その他の教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 |
| | 教育活動外収入計 | 240,760,000 | 243,786,485 | △3,026,485 | |
| | 事業活動支出の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 借入金等利息 | 9,293,000 | 9,291,752 | 1,248 |
| | | 借入金利息 | 9,293,000 | 9,291,752 | 1,248 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外支出計 | | 9,293,000 | 9,291,752 | 1,248 | |
| 教育活動外収支差額 | | 231,467,000 | 234,494,733 | △3,027,733 | |
| 経常収支差額 | | 51,129,000 | 168,540,076 | △117,411,076 | |

| | | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|---------------|----------|----------------|----------------|-------------|--------------|
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 資産売却差額 | 0 | 5,000,000 | △5,000,000 |
| | | 有価証券売却差額 | 0 | 5,000,000 | △5,000,000 |
| | | その他の特別収入 | 32,967,000 | 40,555,910 | △7,588,910 |
| | | 施設設備寄付金 | 17,729,000 | 18,434,500 | △705,500 |
| | | 現物寄付 | 4,114,000 | 7,474,095 | △3,360,095 |
| | | 施設設備補助金 | 10,688,000 | 14,188,066 | △3,500,066 |
| | | 過年度修正額 | 436,000 | 459,249 | △23,249 |
| | | 特別収入計 | 32,967,000 | 45,555,910 | △12,588,910 |
| 特別収支 | 事業活動支出の部 | 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| | | 資産処分差額 | 52,665,000 | 51,969,838 | 695,162 |
| | | 不動産処分差額 | 16,183,000 | 14,144,881 | 2,038,119 |
| | | その他の資産処分差額 | 36,482,000 | 37,824,957 | △1,342,957 |
| | | その他の特別支出 | 29,732,000 | 30,779,262 | △1,047,262 |
| | | 過年度修正額 | 29,732,000 | 30,779,262 | △1,047,262 |
| | | 特別支出計 | 82,397,000 | 82,749,100 | △352,100 |
| | | 特別収支差額 | △49,430,000 | △37,193,190 | △12,236,810 |
| 〔予備費〕 | | (0) | | | |
| | | 13,000,000 | | | 13,000,000 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | △11,301,000 | 131,346,886 | | △142,647,886 |
| 基本金組入額合計 | | △325,175,000 | △322,403,274 | | △2,771,726 |
| 当年度収支差額 | | △336,476,000 | △191,056,388 | | △145,419,612 |
| 前年度繰越収支差額 | | △2,119,981,649 | △2,119,981,649 | | 0 |
| 基本金取崩額 | | 6,485,000 | 10,096,164 | | △3,611,164 |
| 翌年度繰越収支差額 | | △2,449,972,649 | △2,300,941,873 | | △149,030,776 |
| (参考) | | | | | |
| 事業活動収入計 | | 7,181,912,000 | 7,273,077,065 | | △91,165,065 |
| 事業活動支出計 | | 7,193,213,000 | 7,141,730,179 | | 51,482,821 |

(7) 監事による監査報告書

監 査 報 告 書

2019年5月16日

学校法人 北星学園
理 事 会 御 中
評 議 員 会 御 中

学校法人 北星学園

監 事 大津忠行
監 事 宮崎善博

私たち学校法人北星学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人北星学園寄附行為第9条第3号に基づき、2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）における業務及び財産状況の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 監査方法について

1) 業務について

理事会、評議員会等の重要な会議への出席、常務理事等からの業務執行状況に関する聴取及び重要な会議記録・決裁書類の閲覧などの必要と思われる監査手続きを実施し、業務の妥当性を検討いたしました。

2) 財産状況について

監査法人からの会計監査の方法・内容に関する報告・説明を受け、財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書並びに会計帳簿等の閲覧など必要と思われる監査手続きを実施し、計算書類等の正確性を検討いたしました。

2. 監査結果について

- 1) 文部科学大臣又は理事会及び評議員会に報告すべき、学校法人の業務又は財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- 2) 財務に関する計算書類は、学校法人会計基準に準拠しており、学校法人北星学園の収支、財政及び財産状況を適正かつ正確に示しているものと認めます。

3. その他

監事の職務・役割の重要性を鑑みて、今後、さらに監査の充実を図っていくこととします。

以 上

(8) 決算の概要

① 2018年度 資金収支計算書の概要 (25頁の(4)資金収支計算書参照)

補正予算と比較して、その他の収入と資産運用支出の大幅な増加は、有価証券の売却による収入とその代替有価証券の購入額(特定資産の積立)を総額表示したことによるものである。

その他の科目の増減については、次に説明する「事業活動収支計算書の予算差異について」と同様の理由である。

なお、減価償却引当特定資産は、同引当金の100%を繰入している。

② 2018年度 事業活動収支計算書の概要

(単位:円)

| 区分 / 科目 | | 予 算 | 決 算 | 差異(予算-決算) | 構成率 | |
|---------|----------|------------|----------------|----------------|---------------|--------|
| 1 | 教育活動収入の部 | 事業活動収入の部 | | | | |
| | | 学生生徒等納付金 | 5,141,964,000 | 5,145,196,850 | △3,232,850 | 71.2% |
| 2 | | 手数料 | 118,213,000 | 123,089,872 | △4,876,872 | 1.7% |
| 3 | | 寄付金 | 79,517,000 | 85,912,344 | △6,395,344 | 1.2% |
| 4 | | 経常費等補助金 | 1,115,246,000 | 1,135,847,923 | △20,601,923 | 15.7% |
| 5 | | 付随事業収入 | 100,344,000 | 97,211,750 | 3,132,250 | 1.3% |
| 6 | | 雑収入 | 352,901,000 | 396,475,931 | △43,574,931 | 5.5% |
| 7 | | 教育活動収入計 | 6,908,185,000 | 6,983,734,670 | △75,549,670 | 96.6% |
| 8 | 事業活動支出の部 | 事業活動支出の部 | | | | |
| | | 人件費 | 4,582,655,000 | 4,637,708,741 | △55,053,741 | 64.2% |
| 9 | | (内退職金関係) | (293,109,000) | (341,026,635) | (△47,917,635) | 4.7% |
| 10 | | 教育研究経費 | 1,973,722,000 | 1,906,299,438 | 67,422,562 | 26.4% |
| 11 | | (内減価償却額) | (504,543,000) | (503,684,860) | (858,140) | 7.0% |
| 12 | | 管理経費 | 518,181,000 | 495,021,984 | 23,159,016 | 6.8% |
| 13 | | (内減価償却額) | (30,278,000) | (30,230,911) | (47,089) | 0.4% |
| 14 | | 徴収不能繰入額等 | 13,965,000 | 10,659,164 | 3,305,836 | 0.1% |
| 15 | | 教育活動支出計 | 7,088,523,000 | 7,049,689,327 | 38,833,673 | 97.5% |
| 16 | | 教育活動収支差額 | △180,338,000 | △65,954,657 | △114,383,343 | △0.9% |
| 17 | 教育活動外収支 | 収入 | | | | |
| | | 受取利息・配当金 | 240,760,000 | 243,786,485 | △3,026,485 | 3.4% |
| 18 | | 教育活動外収入計 | 240,760,000 | 243,786,485 | △3,026,485 | 3.4% |
| 19 | | 支出 | | | | |
| | | 借入金等利息 | 9,293,000 | 9,291,752 | 1,248 | 0.1% |
| 20 | | 教育活動外支出計 | 9,293,000 | 9,291,752 | 1,248 | 0.1% |
| 21 | | 教育活動外収支差額 | 231,467,000 | 234,494,733 | △3,027,733 | 3.2% |
| 22 | | 経常収支差額 | 51,129,000 | 168,540,076 | △117,411,076 | 2.3% |
| 23 | 特別収支 | 収入 | | | | |
| | | 資産売却差額 | 0 | 5,000,000 | △5,000,000 | 0.1% |
| 24 | | その他の特別収入 | 32,967,000 | 40,555,910 | △7,588,910 | 0.6% |
| 25 | | 特別収入計 | 32,967,000 | 45,555,910 | △12,588,910 | 0.6% |
| 26 | | 支出 | | | | |
| | 資産処分差額 | 52,665,000 | 51,969,838 | 695,162 | 0.7% | |
| 27 | その他の特別支出 | 29,732,000 | 30,779,262 | △1,047,262 | 0.4% | |
| 28 | | 特別支出計 | 82,397,000 | 82,749,100 | △352,100 | 1.1% |
| 29 | | 特別収支差額 | △49,430,000 | △37,193,190 | △12,236,810 | △0.5% |
| 30 | | [予備費] | 13,000,000 | 0 | 13,000,000 | 0.0% |
| 31 | | 基本金組入前収支差額 | △11,301,000 | 131,346,886 | △142,647,886 | 1.8% |
| 32 | | 基本金組入額合計 | △325,175,000 | △322,403,274 | △2,771,726 | △4.5% |
| 33 | | 当年度収支差額 | △336,476,000 | △191,056,388 | △145,419,612 | △2.6% |
| 34 | | 前年度繰越収支差額 | △2,119,981,649 | △2,119,981,649 | 0 | △29.3% |
| 35 | | 基本金取崩額 | 6,485,000 | 10,096,164 | △3,611,164 | 0.1% |
| 36 | | 翌年度繰越収支差額 | △2,449,972,649 | △2,300,941,873 | △149,030,776 | △31.8% |

【事業活動収支計算書の予算差異について】

決算は補正予算と比較して経常収支(グラフ)で117,411千円改善し、168,540千円の収入超過となった。

経常収入は、経常費等補助金が20,602千円増加、雑収入が退職交付金等で43,575千円増加したことなどにより、全体で78,576千円増加した。経常支出は、人件費が退職金の増加により55,054千円増加したが、学園各校の経費の節減によって、教育研究経費と管理経費の合計で90,582千円減額になったことにより、全体で38,835千円減少した。

経常収支差額は収入超過となっているものの、教育活動収支では支出超過となっている。学園の財政構造が教育活動における支出超過額を受取利息・配当金で補填する構造になっており、教育活動収支の改善が必要である。なお、教育活動外収支の受取利息・配当金は、為替レートの影響によって仕組債と外貨建債券の受取利息額が上昇し、予算計上額を上回る資産運用利息を確保した。

特別収支差額は補正予算から12,237千円千円改善し、37,193千円の支出超過となった。改善の要因は、債券の売却によって有価証券売却差額を5,000千円確保したこと、災害復旧費用に係る補助金を3,517千円獲得したこと、現物寄付が3,360千円増加したことによる。

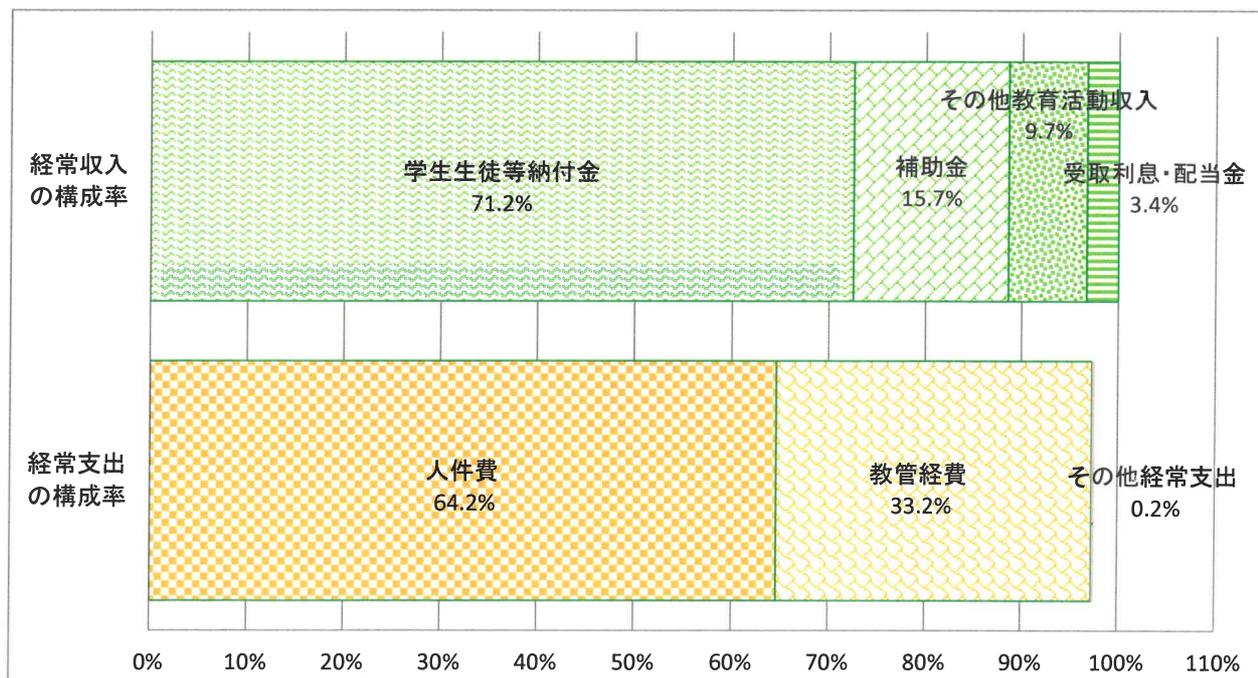
予備費からの執行はなく、基本金組入前当年度収支差額では補正予算から142,648千円改善し、131,347千円の収入超過となった。

基本金組入額は、補正予算から2,772千円の組入減となる322,403千円を計上した。なお、施設整備事業に係る借入金の返済による未組入からの組入額は学園全体で167,950千円であり、2018年度末の未組入額は1,204,093千円となった。

以上の結果、当年度収支差額は補正予算から145,420千円改善し、191,056千円の支出超過額を計上した。

基本金取崩額は余市高校の第1号基本金で、老朽化したプレハブ倉庫を解体したことにより10,096千円の取崩しとなった。

【経常収支のグラフ(経常収支=教育活動収支+教育活動外収支)】



③ 連続貸借対照表（学園総額 2016年～2018年度）

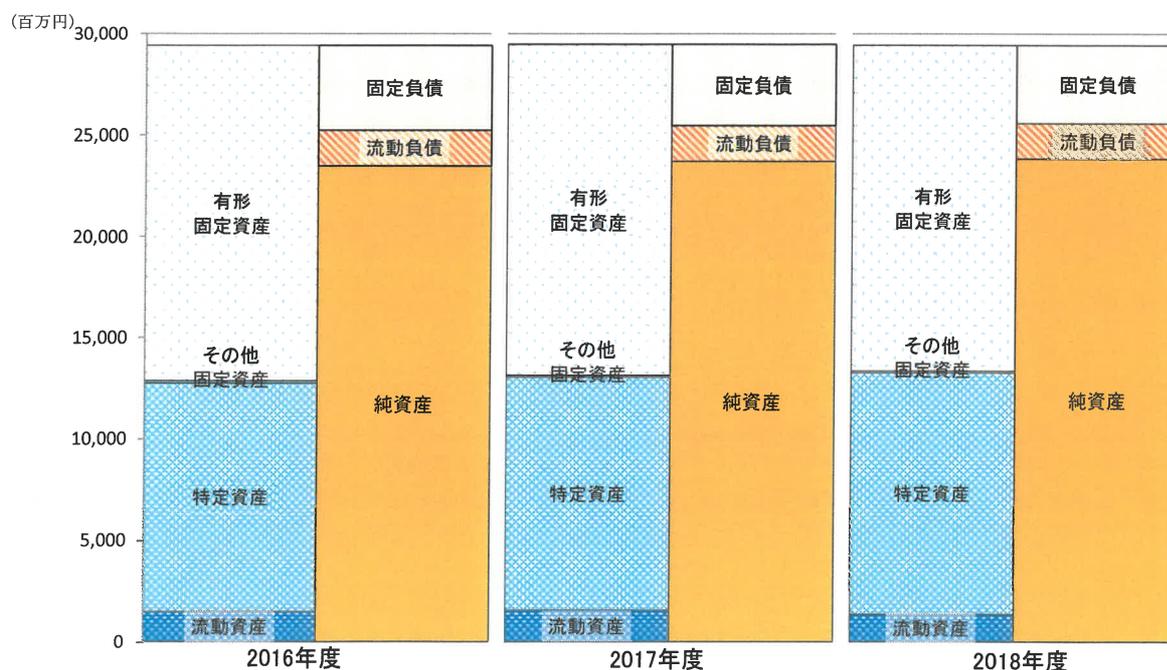
（単位：千円）

| 科目 | 2016年度 | | 2017年度 | | 2018年度 | |
|--------------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
| | 金額 | 構成率 | 金額 | 構成率 | 金額 | 構成率 |
| 固定資産 | 27,916,532 | 94.9% | 27,925,439 | 94.7% | 28,084,371 | 95.4% |
| 有形固定資産 | 16,542,490 | 56.2% | 16,340,944 | 55.4% | 16,077,408 | 54.6% |
| 土地 | 1,615,181 | 5.5% | 1,615,181 | 5.5% | 1,615,181 | 5.5% |
| 建物 | 11,099,343 | 37.7% | 10,830,621 | 36.7% | 10,591,824 | 36.0% |
| 構築物 | 552,400 | 1.9% | 520,925 | 1.8% | 497,500 | 1.7% |
| 教育研究用機器備品 | 762,985 | 2.6% | 805,261 | 2.7% | 771,147 | 2.6% |
| 管理用機器備品 | 53,421 | 0.2% | 47,716 | 0.2% | 44,133 | 0.1% |
| 図書 | 2,458,454 | 8.4% | 2,520,534 | 8.5% | 2,556,917 | 8.7% |
| 車輛 | 706 | 0.0% | 706 | 0.0% | 706 | 0.0% |
| 建設仮勘定 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 特定資産 | 11,262,437 | 38.3% | 11,482,624 | 38.9% | 11,924,215 | 40.5% |
| 第3号基本金引当特定資産 | 388,801 | 1.3% | 389,988 | 1.3% | 390,579 | 1.3% |
| 退職給与引当特定資産 | 810,000 | 2.8% | 813,000 | 2.8% | 813,000 | 2.8% |
| 減価償却引当特定資産 | 9,664,000 | 32.9% | 9,880,000 | 33.5% | 10,321,000 | 35.1% |
| その他の特定資産 | 399,636 | 1.4% | 399,636 | 1.4% | 399,636 | 1.4% |
| その他の固定資産 | 111,605 | 0.4% | 101,871 | 0.3% | 82,748 | 0.3% |
| 電話加入権 | 4,789 | 0.0% | 4,788 | 0.0% | 4,789 | 0.0% |
| ソフトウェア | 57,420 | 0.2% | 53,600 | 0.2% | 38,441 | 0.1% |
| 有価証券 | 30,804 | 0.1% | 29,617 | 0.1% | 29,026 | 0.1% |
| 長期貸付金 | 14,730 | 0.1% | 11,898 | 0.0% | 8,269 | 0.0% |
| その他 | 3,862 | 0.0% | 1,968 | 0.0% | 2,223 | 0.0% |
| 流動資産 | 1,501,393 | 5.1% | 1,564,325 | 5.3% | 1,354,138 | 4.6% |
| 現金預金 | 709,387 | 2.4% | 1,266,973 | 4.3% | 1,076,794 | 3.7% |
| 未収入金 | 244,296 | 0.8% | 266,663 | 0.9% | 254,728 | 0.9% |
| 短期貸付金 | 20,317 | 0.1% | 16,851 | 0.1% | 14,668 | 0.0% |
| 有価証券 | 514,303 | 1.7% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| その他 | 13,090 | 0.0% | 13,838 | 0.0% | 7,948 | 0.0% |
| 資産の部合計 | 29,417,924 | 100.0% | 29,489,763 | 100.0% | 29,438,508 | 100.0% |
| 固定負債 | 4,173,231 | 14.2% | 4,018,418 | 13.6% | 3,856,647 | 13.1% |
| 長期借入金 | 2,615,660 | 8.9% | 2,459,710 | 8.3% | 2,291,760 | 7.8% |
| 退職給与引当金 | 1,557,571 | 5.3% | 1,558,708 | 5.3% | 1,564,887 | 5.3% |
| 流動負債 | 1,764,432 | 6.0% | 1,767,343 | 6.0% | 1,746,512 | 5.9% |
| 短期借入金 | 323,950 | 1.1% | 335,950 | 1.1% | 347,950 | 1.2% |
| 未払金 | 384,127 | 1.3% | 405,524 | 1.4% | 393,820 | 1.3% |
| 前受金 | 910,471 | 3.1% | 888,194 | 3.0% | 865,733 | 2.9% |
| 預り金 | 145,884 | 0.5% | 137,675 | 0.5% | 139,009 | 0.5% |
| 負債の部合計 | 5,937,663 | 20.2% | 5,785,761 | 19.6% | 5,603,159 | 19.0% |
| 基本金 | 25,624,891 | 87.1% | 25,823,984 | 87.6% | 26,136,291 | 88.8% |
| 繰越収支差額 | △2,144,630 | △7.3% | △2,119,982 | △7.2% | △2,300,942 | △7.8% |
| 純資産の部合計 | 23,480,261 | 79.8% | 23,704,002 | 80.4% | 23,835,349 | 81.0% |
| 負債及び純資産の部合計 | 29,417,924 | 100.0% | 29,489,763 | 100.0% | 29,438,508 | 100.0% |

【注記】

| | | | | | | |
|---------|-----------|------|-----------|------|-----------|------|
| 基本金未組入高 | 1,539,993 | 5.2% | 1,372,043 | 4.7% | 1,204,093 | 4.1% |
|---------|-----------|------|-----------|------|-----------|------|

貸借対照表のグラフ



④ 財務比率分析（2016年～2018年度）

※比率(%)は、小数点第1位未満四捨五入

| No. | 区分 | 年度 | | | 算出方法 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | No. | 区分 | 年度 | | | | |
|-----|---------------|------------|-------------------------|--------|------|--------|--------|-----------|----------|------------------|--------------|------------|--------|--------|--------|
| | | 比率名 | 算出方法 | 2016年度 | | | | | | | 2017年度 | 2018年度 | 比率名 | 算出方法 | 2016年度 |
| 1 | 事業活動収支計算書関係比率 | 学生生徒等納付金比率 | 学生生徒等納付金 経常収入 | 72.8 | 72.5 | 71.2 | 13 | 貸借対照表関係比率 | 固定比率 | 固定資産 純資産 | 118.9 | 117.8 | 117.8 | | |
| 2 | | 補助金比率 | 補助金 事業活動収入 | 16.1 | 16.1 | 15.8 | 14 | | 固定長期適合率 | 固定資産 純資産+固定負債 | 101.0 | 100.7 | 101.4 | | |
| 3 | | 人件費比率 | 人件費 経常収入 | 64.7 | 64.6 | 64.2 | 15 | | 流動比率 | 流動資産 流動負債 | 85.1 | 88.5 | 77.5 | | |
| 4 | | 人件費依存率 | 人件費 学生生徒等納付金 | 88.9 | 89.1 | 90.1 | 16 | | 特定資産構成比率 | 特定資産 総資産 | 38.3 | 38.9 | 40.5 | | |
| 5 | | 借入金等利息比率 | 借入金等利息 経常収入 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 17 | | 総負債比率 | 総負債 総資産 | 20.2 | 19.6 | 19.0 | | |
| 6 | | 教育研究経費比率 | 教育研究経費 経常収入 | 26.8 | 25.6 | 26.4 | 18 | | 負債比率 | 総負債 純資産 | 25.3 | 24.4 | 23.5 | | |
| 7 | | 管理経費比率 | 管理経費 経常収入 | 7.3 | 7.1 | 6.8 | 19 | | 内部留保資産比率 | 運用資産-総負債 総資産 | 22.4 | 23.7 | 25.2 | | |
| 8 | | 減価償却額比率 | 減価償却額 経常支出 | 8.7 | 7.7 | 7.6 | 20 | | 基本金比率 | 基本金 基本金要組入額 | 94.3 | 95.0 | 95.6 | | |
| 9 | | 基本金組入比率 | 基本金組入額 事業活動収入 | 4.9 | 2.9 | 4.4 | 21 | | 積立率 | 運用資産 要積立額 | 107.8 | 108.0 | 106.1 | | |
| 10 | | 教育活動収支差額比率 | 教育活動収支差額 教育活動収入計 | -2.4 | -0.8 | -0.9 | No. | | 区分 | 年度 | 算出方法 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | |
| 11 | | 経常収支差額比率 | 経常収支差額 経常収入 | 1.1 | 2.4 | 2.3 | 22 | | | 資金収支区分 | 教育活動資金収支差額比率 | 教育活動資金収支差額 | 6.4 | 6.6 | 6.5 |
| 12 | | 基本金組入後収支比率 | 事業活動支出 事業活動収入-基本金組入額 | 103.8 | 99.8 | 102.7 | | | | | | 教育活動資金収入計 | | | |

財務比率分析について

【事業活動収支計算書関係】

2016年度から2018年度の各比率を学園全体で見ると、教育活動収支差額比率は1.5%改善し△0.9%、経常収支差額比率が1.2%改善し2.3%となり、人件費比率の0.5%改善と経費比率の0.9%低下（減価償却額比率が1.1%低下）によって改善された。ここ数年は教育活動収支が支出超過となっており、資産運用の利息収入の一部をその補填に充てる状況が続いていることから、教育活動収支の改善を図らなければならない。学校別にみると、大学・短期大学部は教育活動収支差額比率と経常収支差額比率がそれぞれプラスであり、堅調に推移している。女子中高は、一見2017年度から収支が大幅に改善したように見えるが、これは前年度に発生した火災に対する保険金収入(116,903千円、経常収入の12%)が2018年度に計上されたことによるものであり、これを除いた収支差額比率は△10%を超えている。附属高校と余市高校の収支はいずれも回復基調にあるものの、依然としてバランスが崩れた状態が続いている。

全国平均との比較においては、人件費比率が全国平均の55.6%に対して64.2%(8.6%高い)、経費比率が41.2%に対して33.2%(8%低い)となっている。初等・中等教育部門を持つ法人の人件費比率は高止まりする傾向にあるが、収支改善のためにも収入の拡大や人件費の見直しなどによって人件費比率の低下を図る必要がある。

今後、中等教育部門の収支構造の健全化に向けた具体的な対策が求められる。

【貸借対照表関係】

流動比率が100%を割込み、一般的な解釈では短期的な支払い能力に欠ける水準にあるが、流動負債の約50%にあたる8.6億円が前受金であることと、減価償却引当金累計額の100%、退職給与引当金累計額の52%を特定資産（固定資産）として積立てていることが要因であり、資金面での不安はない。特定資産構成比率、積立率、内部留保資産比率はいずれも全国平均を上回っており、内部留保資産比率は2016年度から2.8%上昇している。

総負債比率及び負債比率は全国平均と比して高いが、これは学園が2012年度から2016年度にかけて行った大規模な施設設備事業の一部を日本私立学校振興・共済事業団と北海道私学振興基金協会の借入金(総額24.8億円)で賄ったためであり、今後の返済によって比率が低下することとなる。

学園の財政状態は、2016年度から2018年度にかけて運用資産が5.1億円増加した一方で借入金の残高が3億円減少し、純資産が増加していること、経常収支が収入超過を確保していることから、堅調に推移している。

【活動区分資金収支計算書関係】

教育活動資金収支差額比率は、学園の総額はプラスであるものの、学校別にみると大学と女子中高がプラスとなった。ただし、上記【事業活動収支計算書関係】でも触れた女子中高の保険金収入が「教育活動による資金収入」に含まれており、実質的にはマイナスであることに注意したい。

中等教育部門は教育活動による資金収支のマイナス状態が続いているが、教育活動においてプラスのキャッシュフローを生み出すことが、施設設備の充実や特定資産の積立の条件となる。